

中国関係論説資料

第五十五号(平成二十五年分)

収録論文一覧

第一分冊(哲学・宗教・文化)上

愛知大学 言語と文化 二六(二二二)	在日中国人子女の言語使用意識とエスニシティ —ある中華学校でのアンケート調査から—	薛 於 鳴	1
” 二八(二三二)	ヴァニョーニ述『天主教要解略』訳注(十一) 主 なる神様の十戒の部(下の六)	A ヴァニョーニ 葛 谷 ／ 訳登述	—
愛知大学 国際問題研究所紀要 一三九 (二二二)	中国における「方言」民族語の使用用途に関する 一考察 —アンケート調査に基づいて	高 明 潔	11
” 一四一(二三三)	汶川地震後のチャン族研究(一)	松岡 正子	20
愛知県立大学大学院 国際文化研究科論 集 一三三(二二二)	民国期の中山服に関する一考察	乗松 佳代子	30
秋田大学教育文化学部研究紀要 人文科 学・社会科学 六七(二二二)	春秋経(左氏経)の作経メカニズムについての考察 (二) —昭公期—左氏経の「原左氏伝」からの抽 出・編作挙例とその分析より—	吉 永 慎 二 郎	一〇
” 六八(二三三)	春秋経(左氏経)の作経メカニズムについての考察 (四) —文公期—左氏経の「原左氏伝」からの抽 出・編作挙例とその分析より—	吉 永 慎 二 郎	一七
朝日大学 一般教育紀要 三七(二二二)	中国の主要大学日本語学部における日本語教科書 の使用状況	鮎 顕 陽	41
アジアの文化と思想の会 論叢 アジア の文化と思想 二二(二二二)	『九真中経』再考 —上清経の真偽をめぐって—	廣 瀬 直 記	*
” ”	『朱子語類』訓門人訳注(六) —巻二一八・二一五 条— 卷一八・五七条—	『朱子語類』訓 門人研究会	*
” ”	『程氏家塾読書分年日程』訳注稿(九)	中 嶋 野 敏 之 鈴 木 英 之	二五 四六
出光美術館 館報 一六三(二三五)	沙門源空記『弥陀本願義疏』解題・翻刻	八 波 浩 一	六八
” ”	中国古代の青銅器 —「不思議?びつくり!おも しろい」きつと!—	金 沢 清 華 ／ 訳 註	七三
茨城大学文学部紀要 社会科学論集 五五(二三三)	元青花磁器の早期類型の新発見 —実証的観点か ら元青花磁器の起源を論じる—	黄 清 華 黄 清 華	七三
茨城大学文学部紀要 人文コミュニケ ーション学科論集 二三(二二九)	中国近現代図書館分類法の功罪に関する考察	立 木 正 久	47
” ”	劉師培『經学教科書』訳注(十)	井 澤 耕 一	七九

汲古書院	汲古	六三 (一三・六)	醍醐寺藏宋版一切経の雜函に納められた経卷をめぐって	森岡	信幸	二〇九
"	"	"	折本の起源考	安江	明夫	二三三
"	"	六四 (二三・二二)	王紹蘭の『潜夫論箋』補注について	中村	哲夫	二二八
"	"	"	冊子の誕生 — 東洋編	安江	明夫	二三二
九州大学心理学研究	九州大学心理学研究	一四 (一三・三)	中国と日本の中学生におけるストレス反応とソーシャルサポートの関連	鉄	明夫	三三六
九州大学大学院	九州大学大学院	国際教育文化研究	新中国初期の学校における思想政治教育の考察	白土	悟	三四十
九州大学大学院	九州大学大学院	哲学年報	裴頠の「一屋之論」と南朝北朝の明堂	南澤	良彦	三三五
九州大学大学院	九州大学大学院	文学研究	《詩經》「商頌」、《周頌》韻律形態及其與樂舞之關係	杜	曉勤	三六四
九州産業大学	九州産業大学	国際文化学部紀要	徐復觀著作選訳注(二) — 自伝編II —	石川	和喜成	三七八
九州ルーテル学院大学	九州ルーテル学院大学	紀要	現代中国のキリスト教についての一考察	竹内	大衛	三八六
教育史学会紀要	教育史学会紀要	日本の教育史学	台南神学校『校友会雜誌』(一九二八年)にみる「台湾人」意識	三野	和恵	三九九
"	"	"	公教育と多文化教育 — 近現代中国におけるエスニック・マイノリティに焦点を当てて —	新保	敦子	四〇〇
京都大学大学院	京都大学大学院	教育学研究科紀要	文革後中国の教育政策における育成すべき人間像と育成方法の変遷	李	霞	四〇三
京都教育大学紀要	京都教育大学紀要	人文科学系列	名取洋之助の『LIFE』および日中戦争との関わり	奈倉	洋子	四一〇
京都産業大学論集	京都産業大学論集	人文科学系列	辜鴻銘の『中国人の精神』(The Spirit of the Chinese People) (2020)	畠山	香織	四一八
京都府立大学学術報告	京都府立大学学術報告	人文	『朱子語類』卷一四〜一八訳注(五)	宇佐美	文理	* 四二四
共立女子短期大学文科	共立女子短期大学文科	紀要	東アジアにおける「声の伝承」と漢字の出会いについての研究 — 中国雲南省へ — 族文化と日本古代文学 —	遠藤	耕太郎	* 四二五
共立女子短期大学文科	共立女子短期大学文科	紀要	問答論 — 彝族の神話「梅葛」と折口信夫の問答論 —	岡部	隆志	四二八
杏林大学	杏林大学	外国語学部紀要	大出正篤の初級教科書からみる戦前戦中の中国東北部における成人向け日本語授業	荒川	みどり	四二九
近畿大学総合社会学部紀要	近畿大学総合社会学部紀要	人文科学編	中国映画探訪 — 高考・成功・精神創傷	好並	晶	四三三
金城学院大学論集	金城学院大学論集	人文科学編	「蝦蟇仙人」考	張	小鋼	四三九
金城学院大学大学院人間生活学研究科論集	金城学院大学大学院人間生活学研究科論集	八 (〇八・三)	陳鶴琴と倉橋惣三の幼稚園カリキュラム論の比較研究	張	薇	四四五
"	"	一一 (一一・三)	古代中国における障害者観	張	薇	四四九
"	"	一三 (一三・三)	陳鶴琴と倉橋惣三の家庭教育思想の比較研究	張	薇	四五二
熊本県立大学大学院	熊本県立大学大学院	文学研究科論集	中国広西大学、広西師範大学での日本語教育研修報告	跡上	裕子	四五九

黒川古文化研究所紀要 古文化研究 二二 (一一三)	紀鎮「春苑遊狗図」続論	竹浪 遠	二四六
群馬大学教育学部紀要 芸術・技術・体 育・生活科学編 四八 (一一二)	江戸後期の「展観録」と「款録」にみる中国書画 日本・韓国・中国の中学校情報教育の比較研究	杉本 欣久	*
慶應義塾大学日吉紀要 中国研究 六 (一三二)	作者の意圖から國史と孔子の解説へ——嚴黎詩經 解釋における小序尊重の意義——	本村 猛能	468
高知大学学術研究報告 六一 (一三二)	中国の学校教育における食育カリキュラム開発 (一)——中国の子どもをめぐる食生活の現状と課 題——	種村 和史	*
高知大学 語文と教育の研究 二二 (一三二)	中国の学校教育における食育カリキュラム開発 (二)——中国の幼稚園用『健康習慣』における食 育内容の分析——	劉 智萍	475
神戸大学大学院 日本文化論年報 一五 (一一三)	中国における文学教材の学習指導研究——高学年 の場合を中心に——	劉 英里	475
神戸医療福祉大学紀要 一四一 (一一三)	中国宋代の「抹茶法」をめぐる——茶を粉末化 する方法とその意味——	柴 智	479
神戸学院大学 人文学部紀要 三三 (一一三)	日本人大学生と中国人留学生の結婚観の比較	柴 直樹	500
國學院大學 國學院雜誌 一一四九 (一一三)	劉歆「世経」における王朝交替について	柴 他三名	500
國學院大学 日本語教育研究 三 (一一三)	テレビ番組を取り入れた日本語聴解授業の実践 ——台湾の大学における中級日本語クラスを例にし て——	中 瀬美幸	508
國學院大学北海道短期大学部紀要 二八 (一一三)	中国古楽譜研究の回顧と展望	中 山幸文	515
國際基督教大学 教育研究 五四 (一一三)	経済発展に伴う国際的適用性のある大学教育への 試み——中国のケーススタディ——	中 山幸文	515
國際日本文学研究センター 日本研究 四七 (一一三)	『國華』にみる古渡の中国絵画——近代日本にお ける「宋元画」と文人画評価の成立——	中 山幸文	515
國際仏教学大学院大学研究紀要 一六 (一一三)	The Newly Found Text of the Puxian pusa xing yuan zan 普賢菩薩行願讚 (Bhadraçaryāpra- nidhāna) in the Kōngō-ji Manuscript Collection	中 山幸文	515
國士館大学文学部人文学会 国士館人文 学 二 (一一三)	智顓撰『維摩経文疏』訳注(一)	中 山幸文	515
	元朝の学習カリキュラムをめぐる——『程氏家 塾読書分年日程』執筆考	中 山幸文	515
	*……論説資料のページ数の制約により、掲載できなかった長大な論文	中 山幸文	515
	*……特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文	中 山幸文	515
	**……著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文	中 山幸文	515
		神 作 晋一	523
		佐 川 繭子	二六五
		李 錢 子珏	515
		中 山 幸文	508
		柴 原 直樹	500
		廣 村 信一	490
		王 洪 彬	483
		劉 智萍	479
		柴 英里	475
		劉 英里	475
		種村 和史	*
		本村 猛能	468
		杉本 欣久	*
		竹浪 遠	二四六

仁愛女子短期大学研究紀要 四三 (二・三)	日本と中国における幼児教育思想交渉史 —先秦代から明代における中国幼児教育思想の根本原理—	増田 翼	112
椋山女学園大学研究論集 四四 人文科学 学篇(一三三)	書とメディア	鄭 麗芸	117
摂南大学外国語学部 摂大人文学 一九(二二二)	「公」の語義特徴と用法特徴 —日本語話者のための中国語教育の研究—	俞 鳴蒙	121
専修大学学会 専修人文論集 九一 (二二一〇)	心易について	三 澤 三知夫	二二七
禅文化研究所紀要 三三二(二二二)	空から真空へ	古 賀 英 彦	二四九
曹洞宗宗務庁 曹洞宗研究員研究紀要 四二(二二三)	『祖堂集』巻七雪峯和尚章譯注(下)	禪文化研究所 代語録研究班	*
曹洞宗宗務庁 曹洞宗研究員研究紀要 四二(二二三)	慧思の有相行について	加 藤 高 敏	二五五
大正大学 智山学報 六一(二二三)	『法華経』の供養形態の変化と慧思の『法華経』 受容	加 藤 高 敏	二六二
大東文化大学紀要 五一 人文科学 (二二〇)	チベットに伝承される『金剛頂タントラ』所説の 曼荼羅の図像について —シャル寺の作例を中心 に—	川 崎 一 洋	132
大東文化大学人文科学研究所 人文科学 一七(二二三)	校訂 金剛般若経集験記(一)	山 口 敦 史 今 井 秀 和 迫 田 幸 栄	二六九
大東文化大学育兒文化研究 八 (二二三)	二十八宿起原	成 家 徹 郎	142
拓殖大学 異文化交流 言語・文化・歴 史・ビジネス 三(二三八)	形なきかたち —中国美学における「意象」につ いて—	青 木 優 子	156
拓殖大学言語文化研究所 語学研究 二二六(二二三)	邵晋涵『爾雅正義』研究序説	関 清 孝	二七
多摩留學生教育研究論集 七(二〇三)	中国深センにおける日本人の子どもの教育事情と、 小学校四年生に向けての「私の誕生」の授業実践	川 瀬 浩 子	162
千葉大学国際教育センター 国際教育 六(二三三)	「5155」以降に見る中国動漫の拡がり	南 雲 大 悟	168
中央大学 体育研究 四七(二三三)	中国民族音楽家劉天華研究序論 —その研究の意 味と課題—	長 谷 川 久 米 苳 敦 子	173
中央大学論集 三〇(〇九三)	中国の若者文化をめぐって(二) —「動漫」の周辺 ①—	立 松 昇 一	184
中央学院大学人間・自然論叢 三六 (二三九)	中国の中等職業学校での留學生教育 —広東省華 僑職業技術学校の取り組み—	志 賀 幹 郎	190
	現代中国における大学生向け「日本事情」テキス トに見る日本像	見 城 梯 治	193
	中国伝統養生法に関する研究 —「太極五防功」に ついて—	三 村 達 也	205
	呂楠論(一) —中国ドキュメンタリー・フォト (「紀実撮影」)におけるカトリックモチーフの位 相—	宮 本 知 次	205
	呂楠論(二) —中国ドキュメンタリー・フォト (「紀実撮影」)におけるカトリックモチーフの位 相—	山 本 明	216
	呂楠論(三) —中国ドキュメンタリー・フォト (「紀実撮影」)における精神障害者モチーフの位 相—	山 本 明	225
	中日食文化の比較と相違	鷺 尾 紀 吉 明	236

中国古典学会 中国古典研究 五三 (〇八・二二)	三浦梅園の養生思想	名倉正博	※
〃	江戸期における『韓非子』受容の一側面 — 浅井圖南寫『韓子注評』を手がかりに —	小崎智則	※
〃	『白虎通』譯注・卷二 號篇(一)	池田弥敦 井田敦志	※
〃	有若の思想とその意味	永野良久 水野實	※
〃	中村蘭林『讀詩要領』考略 貢禹の七廟說	江口尚純 永井弥人	※
〃	『白虎通』譯注・卷二 號篇(二)	渡楯智志 楯邊將智	※
中部大学国際関係学部論集 貿易風 七 (二・二四)	西南シルクロード —「茶馬古道」に関する民族文 化研究 その二・茶馬重鎮「大研鎮」と納西族の変 遷	宗ティンティン	244
〃	「国家風景名勝区」における仏教寺院の復興 — 觀音菩薩聖地の普陀山を中心として —	黄強	249
筑波大学大学院 教育学論集 九 (二・二二)	嘉納治五郎の留学生教育を再考する — 近代日中 関係史のなかの教育・他者・逆説 —	平田諭治	266
筑波大学大学院 芸術学研究 一六 (二・二二)	現代中国の抽象絵画の発生及びその展開について	漆麟	284
帝京大学心理学紀要 一七 (二・三三)	在日中国人留学生の同一性と異文化適応肯定的自 民族意識が異文化適応を促す可能性	土井瑠美子 大江朋俊 池田政俊	289
天理参考館報 二五 (二・二〇)	台湾伝統版画研究の歩みと現状	楊永智	296
〃 二六 (二・二〇)	中国山東省の風	中尾徳仁	302
東海印度学仏教学会 東海佛教 五八 (二・二二)	慧恵における四事供養について	加藤高敏	一八五
〃	天台智顛における二諦三觀思想の所依経論につい て — 『中論』の二諦說から『仁王般若経』『菩薩 瓔珞本業経』の二諦說へ —	クラン・クオッ ク・フオン	一九二
〃	中国の天台教学における五時教判の変遷 — 智旭『教觀綱宗』における転・接・同・会・借 の五說について —	Dao Trinh Chinh Nham	309
東海大学紀要 文学部 九七 (二・二九)	鈴木眼『論語參解』私注(二二三)	田尻祐一郎	一九九
〃	鈴木眼『論語參解』私注(二三四)	田尻祐一郎	二〇五
〃	鈴木眼『論語參解』私注(二四五)	田尻祐一郎	二二二
東京大学 東洋文化研究所紀要 一六四 (二・二二)	一八世紀における北京の都市景観と住民の生活世 界 — 康熙六旬『万寿盛典図』を中心に —	熊遠報	*
〃	吳郡寶翰樓書目	笠井直美	*
東京大学東洋文化研究所 東洋文化 九二 (二・二三)	台湾先住民族タイヤルと私の廻行の旅 — 植民暴 力の記憶の呪縛 —	中村平	319
東京大学大学院教育学研究科紀要 五一 (二・二三)	中国における独立学院の誕生とシステムの構築	楊天立	332
〃	中国人大学生のアタッチメントと精神的健康との 関連について — 対人関係と学業でのコーピング の媒介作用に注目して —	曲曉艷	339

東京大学大学院 超域文化科学紀要 一八(二二・二)	馮老師の描画レッスン —ある中国人画家の「表現」的人類学	丹羽 朋子	346
東京外国語大学論集 八五(二二・二)	上海・江蘇古典舞台事情 —観光地と古戯台—	川島 郁夫	356
東京学芸大学紀要 総合教育科学系 六三(二二・二)	H・ガードナーのMI理論のアジアにおける受容と展開 —中国、韓国、フィリピンの比較分析—	李 紅実 他五名	374
六四(二三・二)	いざごさを通してみた中国の都市部と地方部の保育者の保育観	劉 清海 倉持 美紅	382
東京国際大学論叢 言語コミュニケーション学部編 九(二三・二)	莊子郭象注 外篇第九 馬蹄(前半)	水野 厚志	二一九
東京成徳大学研究紀要 人文学部・応用心理学部 二〇(二三・三)	ある中国帰国者三世のひとりだち —リフレクシヴ・エスノグラフィによる発達文化研究の試み—	神谷 純子	387
東京成徳短期大学 紀要 四六 (二三・三)	古代東アジアにおける文化交流の研究 —琴(きん)、玄琴(コンゴ)、伽耶琴(カヤゲム)からの考察—	川島 絹江	394
東京理科大学紀要 教養篇 四四 (二二・三)	「礼」における玉の役割 —古代遼河流域の玉の利用を巡って—	汪 義翔	400
東大寺図書館 南都仏教 九六 (二二・三)	新羅元暎入唐放棄疑論	愛宕 邦康	二二九
東北大学大学院 教育情報学研究 一一 (二三・八)	中国人日本語学習者を対象としたジャーナル・アプローチによる授業体験の質的分析	尹 得霞 北村 勝朗	411
東北大学大学院 美術史学 三四 (二三・三)	敦煌莫高窟第二八五窟南壁故事画の意味とその宗教的機能	李 銀廣	二二九
東北学院大学論集 歴史と文化 四九 (二三・三)	近代中国における留日学生の主要な学習対象 —鄒容とその著書『革命軍』を例として—	常 雲平 張 周 趙 傑 力 著 訳	416
東洋大学アジア文化研究所 研究年報 四七(二三・二)	福建省アモイと台湾の城隍廟を通じた宗教文化交流	後藤 武秀	423
東洋大学 経済論集 三七二(二二・三)	経済学部中国語教育に関する一考察	竹中 佐英子	425
〃 三八一(二三・三)	経済学部の中国語教育に関する一考察(二)	竹中 佐英子	433
東洋大学 東アジア仏教学術論集 一 (二三・三)	中国初期天台における仏性論の展開 —智顛の仏性論について—	張 風雷	440
〃	浄影寺慧遠における「仏種姓」と「仏性」	耿 晴	449
東洋大学文学部紀要 六五 日本文学文化篇 文学論藻 八六(二二・二)	能『三笑』の禪画的趣向 —三教一致思想から大悟へ—	原田 香織	二四九
東洋大学大学院紀要 四八 文学研究科 哲学・仏教学・中国哲学・英文学・史学・教育学・英語コミュニケーション専攻 (二二・三)	朱熹哲学における心の様態観	辻井 義輝	458
徳島文理大学研究紀要 八五(二三・三)	儒教と論語	高畑 常信	二六〇
鳥取大学教育研究論集 三(二三・二)	中国の大学における日本語教育の変化 —日本文化の導入—	段 克勤 崎原 麗霞 他一名	469
長崎大学教育学部紀要 人文科学 七八 (二二・三)	Homogeneity Among Neighbours? A Study of Culture in Four Asian Countries	Tony Brown	472
長崎県立大学経済学部論集 四五(四 (二二・三))	中国語インテンシブプログラムポリシーの構築 (一)	秦 耕司	477

長崎県立大学経済学部論集 四六四 (一三・一三)	中国語インテンシブプログラムポリシーの構築 (二)	秦 耕司	490
長崎総合科学大学紀要 五三(二三・八)	相地 —『園治』の翻訳その三 敷地選び—	李 桓	501
名古屋大学 技術・職業教育学研究室研 究報告 一〇(二三・一〇)	中国における中等職業教育のカリキュラム開発モ デル	朴 雪梅	505
名古屋大学大学院教育発達科学研究所紀 要 教育科学 六〇―(二三・九)	中国における障がい者の自立支援と成人教育に関 する一考察— 社区における知的障がい者の就労 支援を通して—	肖 蘭	511
名古屋大学大学院国際開発研究科 クク ロス 八(二一・三)	ある民間芸人の生き方 —「皮影戲」(影絵芝居) の伝承者JAの解放後から文革期までのライフヒ ストリー—	陳 愛国	516
”	無形文化遺産の保護と文化の生成 —北京におけ る新たな「皮影戲」の創出の事例から—	陳 愛国	524
名古屋学院大学論集 人文・自然科学篇 四九―(二三・一)	最初の漢語訳断片「マナスの誕生」	西脇 隆夫/訳	532
名古屋市立大学大学院人間文化研究科 人間文化研究 一七(二二・六)	中国における道德教育と社会科との合科	山田 美香	541
奈良大学総合研究所所報 二二 (二二・一〇)	可見元代石刻拓影目錄稿・五続(從至治至至順)	森田 憲司	547
”	東南アジア華僑華人社会における女性出家僧につ いてのノート	芹澤 知広	556
奈良女子大学 家政学研究 六〇― (二二・一〇)	日本・中国・韓国料理における酢の使用に関する 調査研究—東アジア3料理様式における主材料 と酢の組み合わせの違いの調査—	我如古 菜月 山神 景美 下野 美子	562
奈良女子大学 人間文化研究科年報 二八(二二・三)	日中幼児教育観の違い —「たまごちゃんのお父 さん お母さんになるう」の実践活動に焦点をあ てて—	楊 静	565

* …… 論説資料のページ数の制約により、掲載できなかった長大な論文

※ …… 特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

*** …… 著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第一分冊 (哲学・宗教・文化) 増刊

新潟大学 人文科学研究 一二九 (二・一・二)	中国国家図書館蔵『大慧普覺禪師年譜』について の覚え書き	中西 久味	一
〃	天道自然の啓示 先秦本体論の中の弁証唯物論の 要素について	盧 守助	1
〃	蔡元定律呂證辨詳解(一)	児玉 憲明	二二
二松学舎大学東アジア学術総合研究所集 刊 四二(一・二・三)	近現代中国における『論語』—『論語』VS『水 滸伝』—	佐藤 進	7
二松学舎大学論集 五六(一・三・三)	『詩経』季女攷	遠藤 寛朗	二七
二松学舎大学大学院 二松 二天 (二・一・三)	『詩経』淑姬攷	遠藤 寛朗	四〇
日本印度学仏教学会 印度学仏教学研究 六一―二(一・三・三)	『無量寿経』末疏における八相示現の解釈 —義寂撰『無量寿経述記』を中心に—	南 宏信	五一
〃	智顛における『法華経』の意味	柏倉 明裕	五四
〃	天台智顛における三諦三觀思想の所依経論につい て—『法華経』の方便品の一考察—	クラン・クオッ ク・フォン	五六
〃	華嚴教学における如来一音について	朴 ボラム	五八
〃	道瑠は天台教學に詳しかったか?	伊 吹 敦	五八
〃	法上撰『十地論義疏』についての一考察	金 天鶴	五九
〃	地論学派の心識説と南北二道の形成 —法上『十地論義疏』を中心に—	吉 村 誠	六二
〃	善導『観経疏』所説の教判論について	柴 田 泰山	六六
〃	『往生論註』の「名即法」と「名異法」の名号論	田 中 無量	七〇
〃	株宏における『水陸儀軌』重訂について	石 上 壽應	七二
〃	基説・義令記『勝鬘経述記』について—基の著 作との関連性の検証—	林 香 奈	七四
〃	『智証伝』の成立について	小早川 浩大	七七
〃	林慮山と白鹿山—北朝時代の太行山脈一帯にお ける僧の修行地の問題について—	倉 本 尚徳	七九
〃	A Retrospective Research on Text Formation in Early Buddhism: From a Case on <i>Benxiang yizhi jing</i> T36, Translated by An Shigao	HUNG Hunglung	17
〃	玄奘所伝の瑜伽行派の系譜—『大唐西域記』を 中心に—	吉 村 誠	八二
〃	『瑜伽論記』における護法説に関する一考察	多 田 修	八六
〃	『摩訶止観』十乘觀法の修行規定について	柏 倉 明裕	八九
〃	青原行思・石頭希遷の資料の問題点	石 井 修道	九一
〃	曇鸞の浄土觀についての一考察	溪 英 俊	九五
〃	『念仏三昧宝王論』と廬山慧遠崇拜	加 藤 弘孝	九七
〃	道宣の感通觀について	坂 本 道生	一〇〇
〃	彦埜撰『福田論』とその撰述意義	齊 藤 隆信	21

日本印度学仏教学会 印度学仏教学研究 六二一 (二・三二二)	『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第三体相」の分析	菅野 博史	25
日本語学文化学研究会 言語文化と日本語教育 四二 (二・二二二)	中国の大学における持続可能性 日本語作文教育の可能性 — 学習者の意識から言語実践を見る —	劉 娜	30
日本現代中国学会 現代中国 八七 (二・三・九)	一九八〇年代における中国の思想解放運動と文化ブーム	譚 仁岸	※
日本大学文学部人文科学研究 研究紀要 八二 (二・一九)	広告、一コマ漫画、ファッションデザイン — 一九二〇年代中頃の葉浅子の「漫画」について —	城山 拓也	※
日本大学法学部 桜文論叢 八二 (二・二・九)	植民地期台湾所在の映画フィルム中の劇映画に関する若干の歴史学的考察	古川 隆久	一〇三
日本工業大学研究報告 四三二二 (二・三・九)	鄭樵の書籍分類 — 経部と史部について —	高橋 良政	35
日本渡航医学会 日本渡航医学会誌 二一 (〇八)	日本人の忠と中国人の孝(上) — 日中における忠孝意識の異同	呉 志良	46
日本福祉大学 現代と文化 二二六 (二・二・九)	中国人は震災の何を知らたいのか	勝 田 吉彰 他六名	55
日本民俗学会 日本民俗学 二七三 (二・三・九)	中国漫文シリーズ(その一)「日本人の中国観」についての一考察 — 元気のいいホモ・サケル —	原 田 忠直	57
〃 〃 二二七 (二・三・九)	中国漫文シリーズ(その二)「包」についての一考察 — 鄧小平と「擦辺球」 —	原 田 忠直	66
〃 〃 〃	ナラティブのコンテクストと演じられる場 ノス系イ族の「克智」およびその叙事詩伝統を例に —	巴莫曲布娘 / 著 西村真志葉 / 訳	一〇九
〃 〃 〃	フィールドよ さらば	施 愛東 / 著 西村真志葉 / 訳	一一三
〃 〃 〃	無形文化遺産研究の課題としての民間信仰	高 丙中 / 著 西村真志葉 / 訳	一一〇
〃 〃 〃	書面パラダイムから口頭パラダイムへ — 民間文芸学のパラダイムシフトとディシプリンの自立について —	劉 宗迪 / 著 西村真志葉 / 訳	一二三
花園大学 禪學研究 九〇 (二・二・三)	日明交流と天界寺 — 日本国僧宗嶽等についての一考察 —	竹 貫 友佳子	一五二
〃 〃 九一 (二・三・三)	「掣風掣懸」蠡測	加 藤 一 寧	一六三
〃 〃 〃	泉涌寺と南宋仏教の人的交流	西 谷 功	一七七
〃 〃 〃	韓非子のリーダーシップ	洪 好 文	※
〃 〃 〃	杏雨書屋所蔵三階教写本『人集録明諸経中対根浅深発菩提心法』一巻(羽411)翻刻	西 本 照 真	79
〃 〃 〃	李通玄における往生淨土思想批判	伊 藤 真	89
〃 〃 〃	清末民初の思想的ムーブメント — 近代中国仏教学復興の歴史的背景(草稿) —	葛 兆光 / 著 中西 俊英 / 訳	98
〃 〃 〃	中国仏教における近代性の位相、特徴と問題	唐 忠毛 / 著 倉本 尚徳 / 訳	106
〃 〃 〃	共同体の自己規律としての『論語』	石 井 英 朗	※
東日本国際大学東洋思想研究所・儒学文化研究所紀要 研究東洋 三 (二・三・九)			

姫路獨協大学 教職課程研究 一三 (二・一・一)	日本、韓国、中国の英語教科書を比較する — 学習単元の構成を中心に —	樋口 慎一	三三
広島大学国際センター紀要 三 (二・一・一)	中国人留學生の日本語習得成果における不安	膝 小春	116
広島大学大学院 アジア社会文化研究 一四 (二・三・二)	満州国『時憲書』と通書 — 伝統・民俗・象徴の 再編と変容 —	丸田 孝志	121
広島大学大学院教育字研究科紀要 第一 部 (文化教育開発関連領域) 六二 (二・三・二)	中国における保育の現状	張 育慶	135
広島東洋史学研究会 広島東洋史学報 一八 (二・三・二)	晋の『國興五(三)一七』年、故酒泉表是郡郷仁業里・ 大女・夏侯妙々の衣物疏 — 古陶文明博物館(北 京)所蔵・新資料の紹介 —	白須 淨眞	139
フェリス女学院大学 国際交流研究 二四 (二・三・二)	章炳麟『庸書』の中国思想論(三) 「顔字」から 「清儒」まで 訳解と議論	福 島 仁	144
福岡教育大学紀要 六二 五分冊 芸術 ・保健体育・家政科編 (二・三・二)	劉熙載尺牘研究 — 山西・太谷仁村から雪翁(宋 晉)仁兄親家大人の與えた手書を中心に(そ の二) —	相川 政行	一九三
佛敎大学国語国文学会 京都語文 一八 (二・一・一)	〈現地調査報告〉天津市の書道教育について — 中国を代表する天津の書道事情からの考察 —	西川守彦(桂郷)	一九九
佛敎大学社会学研究会 佛大社会学 三七 (二・三・二)	張廷済と古軌の縁	川 合 尚子	二〇五
佛敎大学 仏敎学部論集 九六 (二・一・一)	マレーシア華人における民族アイデンティティの 創出について	菊 池 明	156
佛敎大学 歴史学部論集 二 (二・二・三)	高麗版大藏經(東國大学校本・東洋佛典研究会本) 大正新脩大藏經 五十首順対照目録	馬 場 久幸	163
佛敎大学大学院紀要 文学研究科篇 四〇 (二・三・二)	善導の還帰往生という修辞法	齊 藤 隆 信	二二五
文化史学会 文化史学 六七 (二・一・一)	憬興『無量寿経連義述文贊』所引外典考	池 田 昌 広	二二五
文教大学 文学部紀要 二六—二 (二・三・二)	善珠『唯識義燈増明記』の「外道老荘」 — 注釈か ら生み出される歴史認識	渡 部 亮 一	二三五
文教大学 文学部紀要 二六—二 (二・三・二)	中国人留日学生の日本語教育を通して松本亀次郎 が果たした役割について	高 橋 良 江	177
文教大学 文学部紀要 二六—二 (二・三・二)	伝記資料における李通玄のイメージ	伊 藤 真	二四六
文教大学 文学部紀要 二六—二 (二・三・二)	李昌齡注『太上感應篇』の成立について — 『梁普録』との関係を中心に —	水 越 知	二五四
文教大学 文学部紀要 二六—二 (二・三・二)	静嘉堂文庫藏漢語版本断片について	西 脇 常 記	二六七
文教大学 文学部紀要 二六—二 (二・三・二)	章学誠『校讎通義』訳注(一) 卷二「原道第一」 「宗劉第二」「互著第三」	文教大学目録学 研究会 向嶋成美 他六名/訳	二六七
文教大学 文学部紀要 二六—二 (二・三・二)	章学誠『校讎通義』訳注(二) 卷二「別裁第四」 「辨嫌名第五」補鄭第六「校讎條理第七」	文教大学目録学 研究会 向嶋成美 他六名/訳	二六七
文教大学 文学部紀要 二六—二 (二・三・二)	『蔗軒日録』にみられる中日書籍交流の一縮図	陳 小 法	186
文教大学 文学部紀要 二六—二 (二・三・二)	『方等懺法』順於涅槃の十種心と『慈悲水懺法』七 種心	坂 本 道 生	三二一
文教大学 文学部紀要 二六—二 (二・三・二)	徂徠學の「道」思想についての再考察 — 『謔園隨 筆』から『論語微』へ —	趙 熠 璋	195

三重大学国際交流センター紀要 七 (二・二七)	日本の中国観(七)(二〇一〇・九―二〇一一年・八)	藤田昌志	205
〃 八 (二・三三)	日本の中国観研究(八)(二〇一一年・九―二〇二二年・八)	藤田昌志	213
身延山大学 東洋文化研究所所報 一七 (二・三四)	天台五時教判の根拠と意味	崔 箕杓	221
身延山大学 身延論叢 一八 (二・三三)	六朝古逸『法華経疏』の同本離片に関する一考察	金 炳坤(慧燧)	*
武蔵大学人文学会雑誌 四四―四 (二・三二)	ウオルシュ著『清国作法指南』にみえる宴会儀礼を巡って	西澤 治彦	三二六
武蔵野大学人間科学研究所年報 一 (二・二四)	On the Thought of Trime Vehicle of Mount Lushan Huixuan	SHI, Jingpeng	234
明治大学教養論集 四八八 (二・三二)	歴史の再編と『道』の修復 ―王夫之『春秋』論を読む―	本間 次彦	三三三
明治学院大学 教養教育センター紀要 カルチュラル 六一 (二・三三)	中国語学習者に関する一考察(三)	竹中 佐英子	238
安田女子大学 言語文化研究叢書 一八 簠齋所用印冊 (二・三三)	簠齋所用印冊	萩 信雄	※
山口大学 アジアの歴史と文化 一七 (二・三二)	漢末『清流』與『仁義』『子蟲學』	馬 彪	244
山口大学教育学部 研究論叢 六一・二 (二・二二)	劉向『説苑』の公私観とその意味	南部 英彦	三四六
〃 六一・二 (二・三二)	『淮南子』假真篇の思想的立場	南部 英彦	三五四
立正大学史学会 立正史学 一二四 (二・二九)	中国の民間信仰と土地神 ―宋代からの検証―	金井 徳幸	三六二
立正大学大学院 佛教学論集 三〇 (二・三二)	日蓮聖人遺文における本門の意味 ―『開目抄』『観心本尊抄』を中心として―	桑名 法晃	三六七
〃	吉藏の法華経信解品の理解について	藤野 泰二	248
立命館言語文化研究 二五一 (二・三二〇)	見えないものと見えるもの ―中国伝統山水画から現代風景まで―	潘 禧	※※
立命館国際研究 二五三 (二・三二)	The Rapid Growth of the Smartphone Market in China and the "Business Ecosystem"	Ryohi NAKAGAWA	256
〃	詭異暗合：歴史人物生卒、歴史事件発生時日中含天命・天意、天理・天道的天数・天机 ―中共双重誕辰虚実、中国多輪演進変幻所隠現的、時環天数・劫結天机数・劫結天机、論考之一(原文は簡体字)	夏 剛	262
〃 二六一 (二・三二六)	劫結難逃：『時環史縁』の変数・定数交織和、人環情縁的榮辱・盛衰転換 ―中共双重誕辰虚実、中国多輪演進変幻所隠現的、時環天数・劫結天机論考之二(原文は簡体字)	夏 剛	289
〃 二六一 (二・三二〇)	中、日之間及各自内部的『語溝・語通』、『語縁・語環』諸相縦論(一)(原文は簡体字)	夏 剛	309
立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要 六 (二・二七)	中国古代の占夢(一)	今場 正美	三七六
〃 七 (二・三七)	中国古代の占夢(二)	今場 正美	三九〇
立命館文學 六三三 (二・一一)	甲骨文字の字種整理	落合 淳思	四〇二
龍谷大学国際社会文化研究所紀要 一三 (二・二六)	日中仏教思想交流の一齣 ―本願力廻向論の展開をめくって―	嵩 満也	331

龍谷大学 仏教学研究 六八 (二二・三)	智顛と灌頂における『涅槃経』観——吉蔵撰述書との比較を通して——	村上明也 四〇九
龍谷紀要 三四— (二二・九)	王弼易学における「象」について	西川靖二 四一八
倫理研究所紀要 二二 (二・三・八)	中国における倫理学の成立と日本思想との交流	龔 穎 四二八
麗澤大学大学院 言語と文明 八 (二〇・三)	島居龍藏のフィールドサーヴェイの特色——西南中国調査を事例として——	金丸良子 336
和光大学現代人間学部紀要 六 (二二・三)	メルセーによるモンゴル人教育の構想とその挫折 第一次国共合作期における中華教育改進社との提携を中心に	水谷 東洋 348
和光大学表現学部紀要 一二 (二二・三)	踊る青年の映画表象 一九八〇年代中国のダンス・ブームと文化翻訳	劉 文兵 358
早稲田大学東洋哲学会 東洋の思想と宗教 三〇 (一一・三二)	正一教・玄教と江南の在來道觀	酒井規史 四四二
〃	後山外派の相即解釋における繼承と發展	弓場 苗生子 四五二
早稲田大学美術史学会 美術史研究 五一 (一一・一二)	北齊碑刻にみられる復古的書法について	徳泉 さち 四六二
早稲田大学大学院 教育学研究科紀要 別冊 二二— (二二・三九)	台北第一師範学校附属公学校訓導宋登才の日記及び論文に関する考察——国語と修身をめぐる教育観の差を中心に——	日下部 龍太 366
早稲田大学大学院 文学研究科紀要 五七・四 (二二・一)	前漢における易の受容とその「経典化」について	川村 潮 四七三

*……論説資料のページ数の制約により、掲載できなかった長大な論文

※……特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

***……著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第二分冊 (文学・語学) 上

愛知大学 文学論叢 一四五 (二・二)	国家図書館蔵の黄以愚『重訂諧声表』の古韻分部	白田真佐子	1
愛知県立大学外国語学部 紀要 四四	《史記》方位詞研究 (原文は簡体字)	張金平	9
愛知県立大学大学院 国際文化研究科論集 一三 (一・一三)	近代文芸思潮の観点から見る「前期魯迅」の始まり	工藤貴正	19
一四 日本文化専攻編 四 (二・三)	古代東アジア各国における「カギ」の漢字表記(下)	方国花	—
愛知工業大学研究報告 四八 (二・三)	「鐺」・「鏢」・「鏢」・「鈎」・「鈎」・「匙」	韓涛	28
愛知淑徳大学言語コミュニケーション学会 言語文化 二二 (一・三)	中国語の方向補語「起来」「下来/去」に関する一考察 — 認知言語学の観点から —	馮富榮	32
愛知淑徳大学 現代社会研究科研究報告 九 (二・三)	従美例分析日本学生対「下来」「和」「下去」的使用偏誤 (原文は簡体字)	董梅香	32
愛知淑徳大学国語国文 三五 (二・三)	『元朝秘史』におけるソルカン・シラとジエベ — geibure ko'un — 語り手」の仮説をもとに —	藤井真湖	37
愛知淑徳大学論集 交流文化学部篇 三 (二・三)	『楊梅號筆』における漢籍の受容について — 出典明記のあるものを中心に —	小椋愛子	二六
愛知淑徳大学論集 メディアプロデュース学部篇 二 (二・三)	『水滸伝』中の美人描写	曹述燮	46
茨城キリスト教大学 言語文化研究所紀要 一八 (二・二)	千玉「搜神記」における「妖」の思想	角田達朗	二四
宇都宮大学 外国文学 六一 (二・三)	華著攷	猿田知之	三四
愛媛大学人文学会 人文学論叢 一三 (二・二)	もう一つの「小民史」 — 国木田独步と日清戦争(下)	丁貴連	三八
愛媛大学 法文学部論集 人文学科編 三一 (二・九)	中国内蒙古自治区における漢語との言語接触によるモンゴル語の変容	小林陽子	54
” 三三二 (二・二)	中唐恋情文学と平安朝の美意識 — (文化ダイナミズム)の視座から —	諸田龍美	五三
桜美林大学 桜美林論考 人文研究 三 (二・三)	白居易「微之を祭る文」訳注	諸田龍美	六五
大阪大学世界言語研究センター論集 四 (二・九)	『古事記』の表記と表現 — 「我」と「吾」の使い分けについて —	張平	七一
” 七 (二・三)	The Integration of Chinese Words Into the Vietnamese Language	VU Dus Nghieu	61
大阪大学大学院文学研究科 待兼山論叢 四五 文学篇 (二・二)	中国における母語力テストの開発と現状	孫富成	69
四五 日本学篇 (二・二)	白居易「三教論衡」について	堀史人	八三
大阪教育大学 学人国文 五五 (二・三)	植民地台湾を生きたる「家」の諸相 — 呂赫若の「財子壽」を中心に —	鄭弁芸	77
大阪経済法科大学 東アジア研究 五七 (二・三)	東アジアにおける日本児童文学の翻訳について — 二〇〇一年から二〇一一年における中国・台湾・韓国での出版状況 —	成實朋子	87
大阪市立大学大学院 人文研究 六三 (二・三)	戦後台湾における日本語俳句の進展と日本の俳句結社 — 『七彩』・『春燈』・『燕巢』とのかかわりを中心に —	磯田一雄	95
	中国語教育年表(一九七五年以降を中心に)	岩本真理	102

大阪府立大学 言語と文化 一一 (一一・一)	従《雪鴻泪史》的周圍看當時作者与読者の交流 (原文は簡体字)	顧 春芳	110
大阪府立大学 言語文化学研究 言語情 報編 七 (一一・三)	断る場面における理由の表現形式 — 中国の日本 語学習者と日本語母語話者を比較して —	周 升干	114
〃	「すみません」と「对不起」の使用条件の対照分析	陳 臻渝	123
大谷大学文芸学会 文芸論叢 八一 (一一・一〇)	現代北京語に関する調査研究 — 中国ドラマ「裸 婚時代」第一集後半の訳注 —	清水由香里	*
大妻比較文化 一一 (一一・二)	『聯合報』『中國時報』二大新聞の文字賞(一九七 六—一九八九)をめぐる — 女性作家たちによる 「私たち」の台湾文学の誕生	赤松美和子	132
大手前大学論集 一一 (一一・三)	正徹「草根集」命名の背景 — 白詩の利用	丹羽博之	九一
岡山大学文学部紀要 五六 (一一・二)	審雨堂の謎 — 「南柯太守伝」異聞 —	岡本不二明	141
〃	宋詩にみえる「枕中記」の影響について	岡本不二明	147
〃	中国新文学建構中的章太炎因素 (原文は簡体字)	李 振声	155
小樽商科大学言語センター Language Studies 19 (一一・一)	楊雄「反離騷」を読む	嘉瀬達男	161
〃	漢字語を活用する韓国語基礎語彙教育	宣 憲洋	165
お茶の水女子大学比較日本学教育研究セ ンター研究年報 九 (一一・三)	多文化社会における文学 — 日中両国の文学にお ける龍を中心にして —	陳 明姿	168
学習院大学文学部 研究年報 五九 (一一・一)	唐詩詩語「敬枕」の漢文訓読語としての「枕をそ ばだてて(聞く)(側臥)	安山部清哉	*
鹿児島県立短期大学紀要 六三 人文・ 社会科学篇 (一一・二)	楽府新編陽春白雪の系統と復原	土肥克己	九八
鹿児島国際大学 国際文化学部論集 一一三 (一一・一)	スベンサー本『呉越物語』後半部 釈文	程 国興	一〇八
〃	《呉越説話》の形成 — 『太平記』への道のり —	程 国興	一一七
神奈川大学言語研究 三四 (一一・三)	中国大陸と台湾における指示詞の対照研究 — “这・那”から見た遠近認知の相違について (その一) —	鈴木進一	171
神奈川大学大学院 言語と文化論集 一九 (一一・一)	中国語の比較構文 — 意味と論理構造 —	于 飛	*
金沢大学 言語文化論叢 一七 (一一・一)	「佳人再びは得難し」 — 張悅然初期短編小説 《堅琴、白骨精》試論	杉村安幾子	185
金沢大学国語国文 三五 (一〇・三)	一休と中国の詩人たち(蘇軾・黄庭堅)	稲田浩治	二三二
〃	一休と中国の詩人たち(林和靖)	稲田浩治	二三三
〃	『菅家後集』注解稿(二十九)	柳澤良一	二三九
金沢大学 人間社会環境研究 二二 (一一・二)	関連詞「如果」の使用範囲と使用動機 — パラレ ルループスを用いたインフォーマント調査に基づ いて —	陳 会林	195
関西大学アジア文化研究センター デイ スカッションペーパー 五 (一一・三)	近代観念史研究與語料庫…以近代關鍵詞“野蠻” 為例	沈 國威	201
関西大学外国語学部紀要 四 (一一・二)	『老乞大』讀資料における中国語“有”字文の諸相 — “壁有者”再考 —	玄 幸子	204
関西大学文化交渉学教育研究拠点 近代 世界の「言説」と「意象」(一一・二)	日本占領下の北京における文化人 — 錢稻孫と周 作人を中心に —	鄒 双双	212

関西大学文化交渉学教育研究拠点 学術研究所紀要 四五 (二・四)	東西	「民度」——和製漢語としての可能性	陳 賈	226
関西大学文化交渉学教育研究拠点 アジア文化交渉研究 六 (二・三三)	東ア	近代中國人編的英漢字典的譜系	内 田 慶 市	235
〃	〃	衛三畏在漢語語言學上的貢獻	内 田 慶 市	242
〃	〃	〃形式〃与〃精神〃的拮抗——重詭胡適《文学改良 芻議》(一) (原文は簡体字)	沈 国 威	247
関西外国語大学 研究論集 九五 (二・二)	九五	新 旧HSK測試成績対比分析 (原文は簡体字)	内 田 慶 市	242
〃	〃	蕭紅の散文集『商市街』について	内 田 慶 市	235
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY HUMANITIES REVIEW 16 (二・一)	(二・一)	試論阮籍《詠懷》詩中的孤独主题 (原文は簡体字)	内 田 慶 市	235
〃	〃	《馬可福音》武漢方言訳本的語音系統 (原文は簡体字)	内 田 慶 市	235
関西学院大学 言語と文化 一五 (二・一)	一五	現代漢語中的〃在〃及其否定形式 (原文は簡体字)	内 田 慶 市	235
〃	〃	中国語母語話者の「格助詞」不使 用について——格助詞「が」の不使 用を中心に——	内 田 慶 市	235
岐阜聖徳学園大学紀要 外国語学部編 五一 (二・一)	五一	日本統治期台湾文学研究 台湾にお ける川合三良——	内 田 慶 市	235
〃	〃	静謐なる抵抗——	内 田 慶 市	235
九州大学言語学論集 三二 (二・二)	三二	満洲語における対格主語	内 田 慶 市	235
〃	〃	中国語の dou 量化的認可条件	内 田 慶 市	235
九州大学言語文化研究院 言語文化論 究 二九 (二・二〇)	二九	漢語蘇州方言におけるパターン代入 規則——入声音節で始まる語を用いた 検証——	内 田 慶 市	235
九州大学国語国文学会 語文研究 一一二 (二・一一)	一一二	日本における郁達夫研究——鈴木正 夫氏の研究を例に——	内 田 慶 市	235
九州大学附属図書館研究開発室年報 二〇二二/二〇二三 (三・九)	三・九	字体からみた『新訳華嚴経音義私記』 の撰述手法	内 田 慶 市	235
〃	〃	濱文庫に所蔵される南澤戲單の由来に ついて——附・濱一衛著「劉氏の嘉業堂」——	内 田 慶 市	235
九州大学留学生センター紀要 二〇 (二・二)	二〇	濱文庫所蔵唱本目録稿(七)	内 田 慶 市	235
九州大学大学院 言語科学 四八 (二・三)	四八	魯迅『雜草』(下)	内 田 慶 市	235
〃	〃	濱文庫所蔵唱本目録稿(六)	内 田 慶 市	235
九州大学大学院 比較社会文化研究 三一 (二・三)	三一	否定の意味を示さない「〜ないか」に ついて——中国語との対照を中心に——	内 田 慶 市	235
九州産業大学 国際文化学部紀要 四八 (二・二)	四八	中国現代文学における「復讐」主题 の変遷	内 田 慶 市	235
ぎょうせい 国文学 解釈と鑑賞 七五七 (二〇七)	七五七	中国語の文の成分	内 田 慶 市	235

ぎょうせい 国文学 解釈と鑑賞 七五―二二(二〇・二二)	東アジアの中世文学	小峯 和明	一五四
京大大学言語学研究所 三〇(二・二二)	在音変過程中産生又消失的軟顎化元音 ―雲南徳 欽燕門郷谷扎蔵語之例― (原文は簡体字)	鈴木 博之	395
京大大学大学院 歴史文化社会論講座紀 要 九(二二・二二)	漢語西寧方言の二音節語における声調中和現象 『夜航詩話』訳注稿(一〇)	川澄 哲也	403
〃	中国語の「把」構文の習得について	道坂 昭廣	408
〃	王勃「滕王閣序」中の「勃三尺微命、一介書生」句 の解釈について	劉 志偉	413
京大外国語大学 研究論叢 七八 (二二・二二)	従許可義看讓字句与「させる」句之間的差別 (原文は簡体字)	道坂 昭廣	419
〃	「統・汝の名はかくして変わる ―「表意」の神話 「表音」の虚構	王 一星	424
京都産業大学論集 人文科学系列 四五 (二二・二二)	崇禎本『金瓶梅』第一回に於ける考察 ―中国文 学に於けるホモナーシヤルへの手懸かりとして―	大村 由紀子	437
京都府立大学学術報告 人文 六三 (二二・二二)	文言小説の詩詞挿入に際して用いられる常套表現 について	大賀 晶子	二六〇
共立女子大学・共立女子短期大学 総合 文化研究所紀要 一九三(二二・二二)	朱子絶句研究 ―『文集』巻五	宇野 直人 他八名	*
近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編 一二(二二・二二)	『崔陟伝』(下)	山田 恭子	444
〃	一九世紀韓国古典小説『布衣交集』と『玉楼夢』 にみられる「知己」について	山田 恭子	452
〃	農村の婦女、都市の婦女 ―中国映画『李双双』 をめぐる一考察	好 並 晶	459
〃	中国における農村テレビドラマの政治性とその受 容 ―『劉老根』、『喜耕田的故事』を中心に―	南 真理	469
〃	日本人中国語学習者を対象とした語素教字法の現 状と課題 ―語素の選別を考える―	阿部 慎太郎	480
熊本大学 国語国文学研究 四七 (二二・二二)	『太平広記』訳注 ―巻四百二十一「龍」三(上)―	太平広記読書会	一七〇
〃	「史」の時代(その二) ―武田泰淳『司馬遷』の生 成(二)	道園 達也	一七七
〃	菅原道真研究 ―『菅家後集』全注釈(二十五)	焼山 廣志	一八四
熊本大学 文学部論叢 一〇三 (二二・二二)	『太平広記』訳注 ―巻四百二十一「龍」三(下)―	太平広記読書会	一九四
熊本学園大学 海外事情研究 三九―二 (二二・二二)	豊子愷 『縁縁堂隨筆』その二	西 楨 偉	二〇四
熊本県立大学大学院 文学研究科論集 五(二二・二二)	中国語母語話者による日本語従属節選択の誤用傾 向 ―『日本語学習者による日本語作文とその母 語訳との対訳データベース』を用いて―	塩 入 すみ	491
慶應義塾大学 藝文研究 一〇一―一 (二二・二二)	中国語母語話者の日本語作文における接続表現の 不使用について	跡上 裕子	499
慶應義塾大学 日吉紀要 中国研究 六 (二二・二二)	柳市・三乗 ―本邦漢語考	佐藤 道生	二二六
	元好問と韓門文人 ―元好問詩における韓門の受 容―	高橋 幸吉	※

慶應義塾大学日吉紀要 中国研究 六 (二二・一〇)	『中国図書』木山書評に答え 併せて若干の問題 について	長堀 祐造	※
〃	孫瑜映画のファンタジー — 一九三〇年代作品の 男性表象を中心に —	吉川 龍生	※
言語と交流研究会 言語と交流 一五 (二二・七)	日本語構造伝達文法の中国語への適用 — 主述句 の記述的研究 —	蔣 家義	506
小出記念日本語教育研究会 論文集 二一 (二二・三)	韓国人と中国人日本語学習者による音象徴語の意 味理解	飯田 香織 岡 賀津雄	515
〃	中国語母語話者と韓国語母語話者の日本語テキス トの読み処理における言語的類似性の影響	大和 祐子 岡 賀津雄	521
高知大学国語国文学会 高知大国文 四四 (二二・一)	上海の広東人 — 穆時英の小説から	高橋 俊	二二二
甲南大学 言語と文化 一六 (二二・三)	〈研究ノート〉老舍『茶馆』北京人民芸術劇院舞 台考(二〇〇九—二〇一一)	石井 康一	528
神戸大学 国際文化学 二五 (二二・三)	サ変動詞と対応する中国語の品詞性	熊 薇	532
神戸大学文学部 国文論叢 四三 (二〇・二)	日本語願望表現の用法再考 — 小説の中国語訳を 手がかりに —	米澤 優	539
神戸市外国語大学外国学研究所 外国学 研究 八三 (二二・三)	九寨溝口内外藏語語音面貌 (原文は簡体字)	鈴木 博之	548
〃	北方方言「蚯蚓」的対応詞(二完) (原文は簡体字)	太田 齋	568
神戸市外国語大学外国学研究所 研究叢 書 五二 (二二・三)	韻書と等韻図 I	太田 齋	*
神戸市外国語大学研究科論集 二四 (二一・一)	日中両言語における受身文の使用範囲の差異とそ の原因について	古賀 悠太郎	591
〃	中国語の思考動詞「想」について	孫 樹喬	598
〃	意志・願望表現の「要」について — 日本語の意 志・願望表現との対照 —	孫 樹喬	607
神戸女子大学文学部紀要 四五 (二二・三)	尺牘資料『玉堂尺牘彙書』における助教詞(量詞) の考察	三保 忠夫	二二七
神戸親和女子大学児童教育学研究 三〇 神戸親和女子大学教育専攻科紀要 二五 (二二・三)	中国人作家による絵本『荷花鎮的早市』について の一考察	矢野 日出子	616

*……論説資料のページ数の制約により、掲載できなかった長大な論文

※……特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

***……著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第二分冊 (文学・語学) 下

國學院大學 國學院雑誌 一二一九 (二・一九)	中國雲南省大理白族の「大本曲」の概説と紹介 — テキストを中心に —	立石 謙次	一
國學院大學紀要 五〇 (二・二)	「すなわち」考	大橋 由美	九
國學院大學日本語教育研究 一 (一〇・一)	菅原道真の桜花詠 — 寛平期宇多朝における『菅 家文章』巻五・三八四番詩の位相 —	笹川 勲	二二
国士館大学文学部人文学会 国士館人文 学 三 (二・三)	『台灣語學案内』の対訳教材としての特徴	市川 春樹	1
国立国語研究所 国語研プロジェクトレ ビュー 三二 (二・三〇)	明代徐禎卿の江南時代 — 文徵明との交遊と洞庭 唱和詩 —	鷺野 正明	三四
駒澤大学外国語論集 一一 (二・一九)	宜蘭クレオール	真田 信治	11
〃 二二 (二・三)	中国語学習における准同音語について	岩崎 皇	16
〃 二三 (二・九)	中国語の音声学習について	岩崎 皇	32
駒沢女子大学 研究紀要 一八 (二・二)	横光利一『上海』に描かれた外国人をめぐる一考 — 井東憲を視座に —	渋谷 香織	四二
埼玉大学大学院文化科学研究科博士後期 課程紀要 日本アジア研究 一〇 (二・二)	『鉄旗陣』と『昭代簫韶』	大塚 秀高	*
埼玉学園大学紀要 人間学部篇 一一 (二・二)	近江朝漢詩文の思想理念	胡 志昂	四七
佐賀大学文化教育学部研究論文集 一六 (二・二)	杜甫の詩と生活(一) (現代文による新しい訓読 の試み — 漢文教育の一探索として)	古川 末喜	五二
〃 一七一 (二・八)	杜甫の詩と生活(二) (現代文による新しい訓読 の試み — 漢文教育の一探索として)	古川 末喜	六三
〃 一七二 (二・三)	杜甫の詩と生活(四) — 「現代訓読文」で漢詩を 読む(漢文教育の一探索として)	古川 末喜	七六
札幌国際大学紀要 四三 (二・三)	Pedagogical Implications of the L1 Lemma Mediation Hypothesis for Vocabulary Acquisition	Koji Takeuchi	38
静岡大学国際交流センター紀要 六 (二・一)	中国語話者のための日本語教材における存在文に ついて — 中国語の「里(里)」と日本語の「中」 を中心に —	案野 香子	41
実践国文学会 実践国文学 七七 (一〇・一)	宮沢賢治と黄瀛 — 詩的邂逅の意義 —	栗原 敦	九三
〃 七九 (二・三)	佐藤春夫『南方紀行』の中国近代(一) — 作家 が見た軍閥割拠の時代 —	河野 龍也	九九
〃 八〇 (二・二〇)	消えない足あとを求めて — 台南醉仙閣の佐藤春 夫 —	河野 龍也	一〇八
〃 八二 (二・二〇)	佐藤春夫『南方紀行』の中国近代(二) — 漳州訪 問先のこと —	河野 龍也	一二七
島根大学外国語教育センター 外国語教 育センタージャーナル 五 (二〇・三)	漢日「一量名」不定格式対比研究 (原文は簡体字)	王 富欣	46
下関市立大学論集 五五三 (二・二)	漢字力 — 留学生(中国語母語話者)を対象として	中野 琴代	54

社会言語科学会 社会言語科学 (〇九・一)	地名の変容と中国社会 — 北京胡同名の社会言語学的考察 —	曹 偉 琴	64
上智大学 SOPHIA LINGUISTICA 59 (一一・)	Unveiling 'Invisible' Conflict Signals in a Japanese-Chinese Interaction	Lisa FAIRBROTHER	72
昭和薬科大学紀要 人文・社会・自然 四六 (一一・一)	否定語の解釈とその用法について — 中国語と日本語との比較を中心に —	臧 世 俊	83
成蹊人文研究 二二 (一三・三)	大澤詩佛『卜居集卷之上』注釈	山 口 旬	*
成蹊大学 成蹊法学 七八 (一三・六)	魯迅五四時期における「人」の思想とその現代的意義	湯 山 トミ子	89
成城大学 成城文芸 一三四 (一三・九)	『蕪華抄』(一)	後 藤 昭 雄	一二七
西南学院大学 国際文化論集 一六二 (一一・一)	巴金『資本主義からアナキズムへ』の成立過程に関するノート	新 谷 秀 明	106
〃 一七二 (一三・三)	中文新詞日語翻訳的資料収集和研究(一) G・M (原文は簡体字)	新 曹 秀 培 林	*
〃 二八一 (一三・一〇)	中文新詞日語翻訳的資料収集和研究(二) N・T (原文は簡体字)	新 曹 秀 培 林	*
専修大学外国語教育論集 三九 (一一・一)	漢語サ変動詞の日中対比	吉 田 雅 子	114
創価大学文学部 創大中国論集 一六 (一三・一)	『類篇』反切札記(下)	水 谷 誠	123
大東文化大学語学教育研究所 語学教育研究論叢 二九 (一二・三)	〃 会V一点几〃について	小 栗 山 恵	131
〃 〃 三〇 (一二・四)	《碧巖録》動補結構特点及〃V+得+将+C〃趨向式的歴史演変 (原文は簡体字)	蔡 娟	136
拓殖大学言語文化研究所 語学研究 二二七 (一二・一)	〃 被字句〃の中の「動詞+その他」について	高 橋 弥 守 彦	141
筑紫女学園大学・筑紫女学園大学短期大学部 紀要 八 (一二・一)	重復を表す〃还〃と〃再〃について	安 本 真 弓	153
筑紫女学園大学・短期大学部 人間文化研究所年報 二二二 (一二・八)	談漢日比較句〃他的年紀比我大〃 和〃彼の年齢は私より上だ〃 (原文は簡体字)	平 山 邦 彦	160
千葉大学教育学部研究紀要 六〇 (一一・三)	台湾現代文学《土地と靈魂》の創作意識について	石 其 琳	166
中央大学 人文研究紀要 七七 (一三・一〇)	台湾現代文学者王幼華の作家人生と創作観について	石 其 琳	173
中央大学 大学院研究年報 四一 文学研究科篇 (一一・一)	杜甫、遺興五首 其三「陶潜避俗翁」詩について	加 藤 敏	二三八
〃 〃 〃 〃	中華人民共和国の言語法「広東省国家通用言語文字規定」について — 漢語方言の使用規制に関する規定を中心に —	小 田 格	*
〃 〃 〃 〃	顔延之「五君詠」とその模擬詩について	河 野 哲 宏	二四三
中京大学 文化科学研究 四四 (一一・一)	洪峰の実験的作品における語りの技法と語り手の意識	遠 藤 佳 代 子	180
〃 〃 〃 〃	『詞源』鈔本紹介	松 尾 肇 子	二五二
中京大学 文学部紀要 四六二 (一一・一)	『詞源』卷上「陽律陰呂合聲圖」考 — その二重循環の意味するもの —	明 木 茂 夫	二五六
〃 〃 〃 〃	斐子野「雕虫論」札記	福 井 佳 夫	二六四

中京大学 文学部紀要 四七二 (二・三)	鍾嶸「詩品序」の文章について(付札記)	福井佳夫	*
中国古典学会 中国古典研究 五三 (〇八・二)	「杜子春傳」臆説	赤井益久	※
朝鮮学会 朝鮮学報 二二〇(二・七)	曹植「洛神賦」小考	鈴木崇義	※
筑波大学外国語センター 外国語教育論 集 三四(二・三)	張赫宙の日本語小説『開墾』における満洲開拓イ デオロギーの展開	安志那	一七七
筑波大学 図書館情報メディア研究 九一(二・一)	「这个十人名」と「この十人名」の現場指示用法に ついて	池田晋	189
電気通信大学紀要 二二二(二〇)	周作人における『徒然草』受容 ―兼好の影響を 中心に―	韓拔玲姫	198
天理大学 外国語教育―理論と実践― 三八(二・三)	融和へ向かう清代詩学について ―王士禛から沈 徳潜へ―	范建明	一九二
天理大学中国文化研究会 中国文化研究 二七(二・三)	入門中国語教材 ―授業に参加しやすい練習問題 の検討	澤田啓二	203
東海大学紀要 国際教育センター 三 (二・三)	「上海文学」とその同人たち ―戦時上海邦人文学 活動研究へのアプローチ―	趙夢雲	一九九
東京大学言語学論集 三四(二・三・九)	日中両語における動詞の自他の対応について ―存在文の場合―	北村よう	213
東京大学総合文化研究科 言語情報科学 一〇(二・三)	現代中国語語気詞「啊(a)」の疑問文末用法 ―コーパスに基づく考察	王瓊	220
東京大学東洋文化研究所紀要 二六四 (二・三)	現代中国語における「給V」構造の意味と機能	神谷智幸	230
東京大学大学院 アジア地域文化研究 八(二・三)	『祖堂集』の基礎方言	衣川賢次	*
東京外国語大学 アジア・アフリカ言語 文化研究 八三(二・三)	<i>Moment in Peking</i> に描かれた「中国」	範麗雅	239
東京外国語大学記述言語学論集 思言 六(二〇・一〇)	カムチベット語Sangdam方言の音声分析とその方 言特徴	鈴木博之	253
東京外国語大学語学研究所 語学研究所 論集 一六(二・三)	日中オノマトペの述語用法の諸特徴に関する対照 研究 ―辞書の用例を用いた予備調査―	黄慧	264
東京外国語大学語学研究所 語学研究所 論集 一六(二・三)	中国語	三宅登之	276
東京外国語大学論集 八三(二・二)	中国語	三宅登之	279
同志社大学言語文化学会 言語文化 一五・一三(二・三)	朝鮮時代の近世中国語の「翻訳」について	伊藤英人	286
同志社大学グローバル地域文化学会 紀 要 一(二・三)	中国語の小説を構成する文の叙述のタイプ	加藤晴子	297
同志社女子大学 学術研究年報 六三 (二・三)	柳詩注訳(其十二)	小池一郎	*
東北大学言語学論集 二〇(二・二)	柳詩注訳(其十四)	小池一郎	305
東北大学東北アジア研究センター 東北 アジア研究 一六(二・二)	『桑華蒙求』概略・出典覚書(上巻)	本間洋一	二二三
	中国朝鮮族児童のL2習得によるL1使用への影響に ついて	金春香	323
	近代モンゴル語辞典の成立過程 ―清文鑑から『蒙漢字典』へ―	千種眞一	330
		栗林均	

東北大学大学院文学研究科言語科学専攻 言語科学論集 一六 (一一・一二)	接辞性字音語基の造語力 ―「者」「家」「人」を対 象として―	曾	睿	341
〃	日本語の複合動詞「〜こむ」類と中国語の複合動 詞「〜進/入」類との対照研究 ―認知意味論か らのアプローチ―	王	秀英	347
東北大学大学院 国際文化研究科論集 一九 (一一・一二)	近代日本に於ける中国白話小説『三言』所収篇の 受容について ―増田渉の事例(一九二七)を中心 として―	勝山	稔	三三九
〃	井上紅梅の養家「井上商店」の記録について ―井上紅梅に関する事跡研究の一環として―	勝山	稔	三三八
東洋大学アジア文化研究所 研究年報 四七 (一三・二)	日中翻訳 ―〈天声人語〉(二〇二一・七・二九) 的漢語訳文分析― (原文は簡体字)	続	三義	353
東洋大学人間科学総合研究所紀要 一三 (二・三)	日本語と中国語の名詞述語文に見られる共通点と 相違点 ―「誰是他(誰が彼む)?」等の誤用分析 を通じて―	王	亜新	360
東洋大学文学部紀要 六五 日本文学文 化篇 文学論藻 八六 (二二・二)	横光利一『上海』のインターテクスチュアリティ ―表象の論理―	石田	仁志	二四六
東洋大学大学院紀要 四八 文学研究科 哲学・仏教学・中国哲学・英文学・史 学・教育学・英語コミュニケーション専 攻 (二二・三)	『古今』と張愛玲 ―作品掲載の背景―	田中	路子	367
徳島文理大学研究紀要 八六 (二三・九)	漢詩研究―唐代詩	高畑	常信	二五六
獨協大学外国語学部 マテシス・ウニウ エルサリス 一三二(二)	辞典語積のフィードバックを動詞「拿」で試みる	武信	彰	373
富山大学人文学部紀要 五六 (二二・二)	雑誌『小天地』(一九四四―一九四五)考 『楚辞』における「南国」意識	梁	有紀	380
〃	イブセン『人形の家』をめぐる森鷗外と魯迅 ―魯迅生誕一三〇年に寄せて―	大野	圭介	二七六
〃	付与・付加を表わす機能動詞の日中対照研究	金子	幸代	二八八
〃	“是”VP的“結構中”是“与”的“的詞性及語法 意義 (原文は簡体字)	朱	薇娜	393
〃	中国人日本語学習者による語彙・文法知識から述 部構造の理解を仲介とした読解への因果関係モデ ルの検証	森	友佳	403
〃	中国語話者における日本語の有対動詞の自動詞・ 他動詞・受身の選択について ―動作主の不注 意による対象の変化を表す場合―	朱	薇娜	393
〃	中国語における(恋愛)のメタファーに関する一 考察 ―認知メタファー理論の立場から―	杉村	泰	422
〃	李天葆論	楊	暁文	431
〃	張愛玲「沈香屑 第一炉香」再読	楊	暁文	438
〃	程度副詞「更」と「还」について	蟹江	静夫	448
〃	(魯迅翻訳の「蘇俄的文芸政策」に関するノート (七)	謝	政喜	456
〃	〃	中井	政喜	456
〃	〃	謝	政喜	448
〃	〃	蟹江	静夫	438
〃	〃	楊	暁文	431
〃	〃	楊	暁文	422
〃	〃	朱	薇娜	393
〃	〃	森	友佳	403
〃	〃	朱	薇娜	393
〃	〃	杉村	泰	422
〃	〃	楊	暁文	431
〃	〃	楊	暁文	438
〃	〃	蟹江	静夫	448
〃	〃	中井	政喜	456

名古屋外国語大学外国語学部 紀要 四五(一三三)	魯迅翻訳の「蘇俄的文芸政策」に関するノート (下)	中井政喜	467
名古屋学院大学論集 言語・文化篇 二三(一)(二)(三)	現代のホメロスに訊く——中国キルギス族の語り 手ジユスプ・ママイ訪問談——	アデル・ジユ マトウルデイ 西脇隆夫／著 ／訳	481
〃	J・POP広東語カバー曲における声調の楽音へ の影響(二)	樋口勇夫	488
奈良大学紀要 四〇(二二・二)	長江文学会「土曜文芸」『長江文学』細目 ——日本統治下上海の邦語文芸雑誌一斑——	木田隆文	二九五
奈良産業大学紀要 二八(二二・二)	近世中国語シソーラス研究 —— 知道、曉得、 等 ——	植田均	510
〃	中国近世語 分類語彙表 作成構想 (二)	植田均	521
奈良産業大学地域公共学総合研究所年報 三(二二・二)	中国語シソーラス研究(RART1)	植田均	538

*……論説資料のページ数の制約により、掲載できなかった長大な論文

※……特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

※※……著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第二分冊 (文学・語学) 増刊

鳴門教育大学 語文と教育 二六 (二二・八)	唐詩における曹植・丕詩の影響について — 李白の詩「感興」八首などを中心にして —	上野 裕 人	一
南山大学 アカデミア 文学・語学編 九三 (二二・一)	蘇軾詩注解 (十二)	山本 和義 他五名	六
〃	蘇軾詩注解 (十三)	山本 和義 他五名	二六
新潟大学 東アジア—歴史と文化— 二一 (二二・三)	明治漢学の余緒 — 魯迅『中国小説史略』を中心 に —	盧 守 助	1
新潟大学大学院現代社会文化研究科 言 語の普遍性と個別性 三 (二二・二)	台湾語「有+VP」と日本語「V+テアル」との対 照研究 — 構文・意味を中心に —	陳 麗 君	15
二松学舎大学 人文論叢 八九 (二二・一〇)	「飲冰室詩話」にみる導師の贈詩 — 梁啓超に贈ら れた康有為と黄遵憲の詩 —	細川 直 吉	四一
二松学舎大学院 二松 二五 (二二・一〇)	『楚辭』九歌攷	吉井 涼 子	五五
〃	『詩經』檜風・素冠篇に就いて	家 井 眞	七〇
〃	卜辞の語法系統についての研究二 — 卜辞におけ る時間詞のとり方から考える	長谷川 良 純	24
〃	『詩經』好人攷	遠 藤 寛 朗	八三
日本学生支援機構 日本語教育センター 紀要 八 (二二・七)	動作動詞の日中対照研究 「はぐ・はがす」と 「扯」	水 落 い づ み	37
日本語学文化研究会 日本語学文化研究 一四 (二〇・三)	文末における日本語の助動詞「タ」と中国語の助 詞「了」の対訳美態の考察	侯 仁 鋒 治 文 玲	48
日本現代中国学会 現代中国 八七 (二二・九)	遙かなユートピア — 王安憶『弟兄們』における レスビアン連続体 —	濱 田 麻 矢	※
〃	高行健『個人的聖經』における語りの特徴 — 残された一人称 —	河 村 昌 子	※
日本大学芸術学部紀要 五六 (二二・九)	林美美子における台湾、中国、満州、朝鮮 — 基礎資料の提示と今後の研究課題 —	山 下 聖 美	九六
日本大学国際関係学部研究年報 三三 (二二・一)	日本語語彙中に占める唐話語彙の位置について	小 田 切 文 洋	56
日本大学国際関係学部 国際関係研究 三二 (二二・一)	白居易の共感覚表現について	中 元 雅 昭	61
日本大学国文学会 語文 一三六 (二〇・四)	長谷川テル『戦う中国にて』を読む	安 元 隆 子	一〇二
日本大学文学部人文科学研究 研究 紀要 八三 (二二・三)	酔耕堂本『三国志演義』序訳注及び解題	片 倉 健 博	二二四
〃	東アジアにおける戦時・戦後プロパガンダ — マルチ・メディア利用した「日本・中国・ 台湾・韓国」の比較研究	山 口 他 三 名 守	65
日本大学法学部 桜文論叢 八二 (二二・一)	説「就」「才」 (原文は簡体字)	萬 清 華	73
日本工業大学研究報告 四一—四 (二二・一)	中国語学習へのアプローチ	吳 志 良	81
日本女子大学紀要 文学部 六一 (二二・四)	「跋涉」への旅立ち — 蕭紅『商市街』抄訳 —	平 石 淑 子	83

日本中国語学会 中国語学 二六〇 (二二・一〇)	漢語的核心重音	馮勝利	※
〃	強勢層級拡張と詞語概念整合的互補効応 (原文は簡体字)	吳為善	※
〃	從「大批判」与「很大批判」的対立看单双音動詞的句法功能(原文は簡体字)	王麗娟	※
〃	「輕清重濁」重議・以詩律為中心 (原文は簡体字)	蕭振豪	※
〃	元曲元刊本における(哈)——人稱代名詞の歴史變化の一断面——	宮下尚子	※
〃	ドイツの博物学者が一八二二年に記した粵語音	吉川雅之	※
〃	漢語南方方言指示代詞發展趨向試析——從地理分布及語法化角度的觀察	陳怡君	※
〃	心理的不許容を表す可能補語形式(知覚動詞——不 得)	福田翔	※
日本比較文化学会 比較文化研究 九四 (二〇・一一)	台湾の大学における日本語作文指導に関する一考察——淡江大学の実態調査を中心に——	施信余	92
〃	漢語の読み理解と意味理解にコンテキストが果たす役割	平川彩子	98
人間環境大学 人間と環境 二 (二一・一一)	『論語』に見る漢文の構造	渡昌弘	二二
梅光学院大学 論集 四五 (二二・二)	対外漢語語音教学中的意節問題 (原文は簡体字)	馮戰兵	103
八戸工業大学紀要 三一 (二二・三)	老舍『王老虎』試論	渡辺武秀	109
花園大学文学部研究紀要 四四 (二二・三)	祖堂集語法研究瑣談	衣川賢次	118
浜松大学研究論集 二四一 (二二・二二)	夫婦呼称の中日比較	張玉	133
東アジア日本語教育・日本文化研究学会 東アジア日本語教育・日本文化研究 一六 (二二・三)	品詞と意味における二重誤用されやすい日中同形語に関する研究	王燦娟	137
〃	『蟹世連言』と『英草子』における「狂生鼓盆」説話の利用法——通俗性から現実性への変容——	崔香蘭	151
〃	否定表現「不」の文法機能	林樂青	161
〃	発音学習におけるグルーブワーク実践の可能性——中国人日本語学習者の言語学習観の分析を通して——	林樂青	171
〃	『不如帰』の近代漢訳史に関する考察	楊文瑜	179
〃	日本語と中国語の再帰代名詞について——意味と用法を中心に——	金晶	188
〃	日中広告言葉における対照研究——シンタクスを中心に——	趙嵐	198
〃	日台両国のあいさつ言語行動の対照研究——校内での出会いの場面を中心に——	劉静慧	213
一橋大学大学院 言語社会 六 (二二・一〇)	「チワン・ブイ」「文字聯盟」と言語学者セルヂュチェンコの間与についての再検討	テグス	二二六
姫路獨協大学 教職課程研究 一三三 (二二・一〇)	中国語の断りにおける表現選択と伝達意図について	劉珏	222

弘前大学人文学部 人文社会論叢 人文科学篇 二七 (一一・二)	叙景詩と詩跡 — 朱熹の武夷山を詠む詩を手掛かりにして—	李 梁	228
広島大学国語国文学会 国文学叢 二二 (一一・九)	浅井了意『可笑記評判』と仏書の顔淵像	末 裕 昌 子	二三四
〃 〃 二二四 (一二・六)	「目的語残存受身文における目的語残存の条件について」— 中国語との対照という視点から—	于 康	237
〃 〃 二二五 (一二・九)	醍醐寺藏『探要法花験記』日本・中国両部の比較— 和化漢文用字法の共通基盤解明に向けて—	磯 貝 淳 一	二四三
県立広島大学人間文化学部紀要 七 (一一・一)	A Comparative Study on Dictionary Uses in Literary and Expository Reading	Takayuki NISHIHARA	244
〃 〃 〃 〃 八 (一二・三)	戦後台湾の日本語作家の声 黄靈芝氏インタビュー (一)	下 岡 友 加	二四九
〃 〃 〃 〃 八 (一二・三)	戦後台湾の日本語作家の声 黄靈芝氏インタビュー (一)	下 岡 友 加	二五六
広島市立大学 広島国際研究 一九 (一二・一一)	漢語の意味変化について — 「迷惑」の統紹—	欒 竹 民	251
福岡大学人文論叢 四四 (一一・九)	A Contrastive Description of the Ba-construction in Standard Chinese and Xining Dialect	Tetsuya Kawasumi	258
〃 〃 〃 〃 四三三 (一一・二)	漢語滬源方言の舌尖母音化について	川 澄 哲 也	263
〃 〃 〃 〃 四五二 (一二・三・九)	青海「花儿」用韻初探 — 以流行于西寧、樂都一帶的花儿為例— (原文は簡体字)	川 澄 哲 也	269
福岡教育大学紀要 六一一分冊 文科編 (一一・二)	徐楠「沈周・唐寅『落花』詩連作を論ず」訳注	藤 井 良 雄	二六三
福岡教育大学 国語科研究論集 五三 (一一・一)	白居易「醉吟先生墓誌銘」考 — 『白氏文集』所収の偽文について—	陳 獅	二七一
〃 〃 〃 〃 九六 (一二・三)	明治時代における「食人」言説と魯迅の「狂人日記」	李 冬 木	279
佛教大学 文学部論集 九六 (一二・三)	第一次全国文学芸術工作者代表大会の準備について	辻 田 正 雄	291
佛教大学大学院紀要 文学研究科篇 四〇 (一一・三)	「二十四孝」の張孝張礼説話について — 説話交替の問題—	坪 井 直 子	二七六
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	小林秀雄「蘇州」をめぐる	陸 艶	二八二
文教大学 文学部紀要 二五二 (一一・一〇)	領台初期の台湾語教学(一)	樋 口 靖	298
法政大学文学部紀要 六五 (一二・一〇)	韋應物 悼亡詩論(承前) — 潘岳の哀傷作品との関わり—	黒 田 真 美 子	二八七
北海道教育大学札幌校 札幌国語研究 一七 (一二・八)	李白と杜甫の「独立」について	後 藤 秋 正	二九八
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	「白骨」を詠ずる詩歌の系譜 — 杜甫を中心に、蔡琰から陳陶まで—	今 村 浩 子	二〇五
北海道文教大学論集 一一 (一〇・三)	中国語教育における「表現法」 — 『表現法マニュアル』を中心に—	山 内 智 恵 美	308
松山大学 言語文化研究 三二 (一一・九)	《説文》「同部字連語」考釋	張 希 峰	312
〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	《説文》所見「雙聲字」考釋	張 希 峰	324
三重大学国際交流センター紀要 八 (一二・三)	中間言語語用論に基づく誤用から見た中国の日本語教育 — 江蘇大学日本語専攻を中心に考察して—	趙 康 子 英	336

山形大学大学院社会文化システム研究科 紀要 九 (二二・〇)	一〇 (二三・二〇)	日本語の漢音・呉音と台湾語の讀書音・俗音	中澤 信幸	496
山口大学 文学会志 六二 (二二・二)	六三 (二三・二)	方中履『切字釈疑』「真庚能備各母異状」の条を讀む(「切字釈疑」第五節訳注)	富平 美波	505
四日市大学環境情報論集 一五二 (二二・三)		方中履『切字釈疑』「發送収」の条を讀む(「切字釈疑」第七節訳注)	富平 美波	514
立正史学 一一一 (二二・三)		中国語慣用句〈形容詞〉“点儿”“了”“了”と〈形容詞〉“了”“点儿”の比較	吉山 青翔	522
立命館アジア太平洋研究センター「ポリグロシア」(Polyglossia) 二二二 (二二・三)		唐代八儂考	田中 則行	二四六
龍谷大学国際センター研究年報 二〇 (二一・三)		初級段階における中国語発音指導の再考——母音指導を中心とした指導方法の模索——	吳 青姫	530
流通経済大学論集 四六・四 (二二・三)		“了”の教授法に関する試み	張 文青	535
了徳寺大学研究紀要 六 (二二・三)		ON RESULTATIVE DE CONSTRUCTION in MANDARIN CHINESE	GAO Yan	544
早稲田古代研究会 古代研究 四五 (二二・一)		『紅樓夢』の文体的特徴——宴席での表現を中心に——	池間 里代子	548
早稲田大学大学院 文学研究科紀要 五七・二 (二二・一)		『懷風藻箋註』引用典籍一覽および考証	細谷 惠志	二五八
		傳增湘の「游記」と「塞外詠」詩について	稲畑 耕一郎	二七九
		江戸期における中国古典戯曲書の将来	伴 俊典	二八八

(55-2増)

*……………論説資料のページ数の制約により、掲載できなかった長大な論文

**……………特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

***……………著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第三分冊 (歴史・政治・経済Ⅰ) 上

愛知大学国際コミュニケーション学会 文明二二 二七 (二二・二〇)	旅行メディアに見る植民地時代 — 『地球の歩き方ガイドブック』シリーズ・台湾編を中心に —	岩田 晋典	1
愛知大学 国際問題研究所紀要 一三九 (二二・二〇)	戦時下の哥老会 — 重慶国民政府の社会統合における哥老会	孫 江	12
愛知学院大学文学部紀要 四一 (二二・二〇)	戦時期におけるハワイ華僑の実態と抗日活動 — アジア・太平洋戦争と関連させて —	菊池 一隆	—
愛知県立大学大学院 国際文化研究科論集 一四 (二二・二〇)	満州族の葬儀の変化とその歴史的・社会的背景	王 曦敏	26
愛知江南短期大学紀要 四二 (二二・二〇)	『史記』項羽本紀考	柴田 昇	26
アジア経済研究所 アジア経済 五二五 (二二・一九)	満洲房産株式会社の住宅供給事業	平山 剛	32
宇都宮大学国際学部研究論集 三二 (二二・一九)	日中戦争下の山西省太原市計画事業	徳永 智	51
愛媛大学 法文学部論集 人文学科編 三二 (二二・一九)	東アジアの近代と女性、そして「悪女」	金 多希	62
追手門学院大学 アジア学科年報 六 (二二・一九)	漢代檄の伝達方法と機能 — 文書と口頭伝達 —	藤田 勝久	一四
鷹陵史学会 鷹陵史学 三八 (二二・一九)	南宋臨安における空間形態とその変遷	高橋 弘臣	三三
大阪大学経済学 六一 (二二・一六)	里耶秦簡にみえる秦代郡県の文書伝達	藤田 勝久	五三
大阪大学大学院 阪大法学 六一・三・四 (二二・一六)	〔訳註〕曹溶『明漕運志』(一)	田口 宏二朗	六六
大阪教育大学 歴史研究 四九 (二二・一六)	魏志倭人伝にあらわれた卑弥呼観	楠山 修作	七六
大阪経大論集 六四・三 (二二・一九)	中国広州と北京の旅行記、昨今	奥田 尚	八〇
大阪国際大学 国際研究論叢 二六・二 (二二・一六)	略述中日建交史的起源 — 以遣隋使小野妹子為中心 — (原文は簡体字)	伊原 澤周	70
大阪産業大学論集 人文・社会科学編 一五 (二二・一六)	宋元時代の江南における水稻品種の栽培期間	市村 導人	75
	戦時下における華北軍輜の経営実態	沢井 実	89
	東清鉄道の敷設と露清国境 — ドゥホフスコイ総督のロシア極東観を中心に —	竹中 浩	八八
	邪馬台国における「租」税と「賦」税	田中 章介	九九
	博物館里的辛亥革命与中日関係 (原文は簡体字)	馬 曉華	96
	長沙呉簡中の邸閣・倉吏とその関係	伊藤 敏雄	一四
	『荀氏家伝』の編纂について	永田 拓治	二七
	外国銀行と中国の現地経済(一九一三—一九二七年) — チャータード銀行上海支店の業務を中心に —	蕭 文嫻	102
	支那事変における河合栄治郎の国際情勢認識 — 他の自由主義知識人との危機意識の相違を踏まえて —	久野 潤	114
	『漢書』百官公卿表訳注稿(四)	大川 俊隆	一四
	『漢書』百官公卿表訳注稿(五)	大川 俊隆 他四名	一五

大阪産業大学論集 人文・社会科学編 一七 (一三・二)	『漢書』百官公卿表訳注稿(六)	大川 俊隆	一六二
〃 〃 一八 (一三・三)	『漢書』百官公卿表訳注稿(七)	大川 俊隆 他四名	一七四
〃 〃 一九 (一三・四)	『漢書』百官公卿表訳注稿(八)	大川 俊隆 他四名	一八四
大阪市立大学大学院 人文論叢 四〇 (一三・四)	北漢時代の楊業とその周辺	田 淵 欣也	121
大谷大学史学論究 二六 (二一・三)	経録と史書 — 魏晋南北朝隋唐期における仏教史編纂の試み—	大内 文雄	一九五
岡山大学文学部紀要 五七 (二二・七)	アヘン戦争前後における清朝中央の政策決定過程	新 村 容子	130
岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要 三三 (一一・三)	宋応星『野議』訳注(四)	加 計 三千代	141
沖縄県立芸術大学音楽学部音楽学専攻 ムーサ 一三 (二一・三)	御冠船踊りを観る冊封使 — 唐の御取持—	板 谷 徹	152
香川大学経済論叢 八六・二 (一三・九)	『満洲国』下の都市社会問題 — 石炭供給不全を中心に—	山 本 裕	161
学習院史学 五〇 (二二・三)	咸豊前期における人事改革と宗室について	倉 嶋 真美	二〇四
金沢法学 五五・一 (二二・七)	『唐律疏議』断獄律現代語訳稿(上)	中 村 正人	二二三
金沢大学考古学紀要 三四 (一三・三)	「松田器」から石刀へ — 長江下流域における石製收穫具の使用方法—	原 田 幹	※※
〃 〃	飛馬文帯再考	大 谷 育恵	※※
金沢大学 人間社会環境研究 二六 (二二・九)	『台湾行政長官公署公報』(一九四五—一九四七)からみる日本語を対象にした言語政策の実態	徐 秀 瑩	※※
金沢大学文化資源学研究 一一 (二二・二)	中国先史・古代における稲作社会の多元的形成の研究 主に博物館・文物考古研究所所蔵の農耕関連遺物調査報告	榎 林 啓介	171
関西大学 東西学術研究所紀要 四六 (二二・四)	一八八二年三菱郵便汽船会社により上海へ輸出された日本産昆布	松 浦 章	二二七
〃 〃	辛亥前後の熊希齡と日本の関係 (原文は簡体字)	陶 徳 民	175
〃 〃	冊封する皇帝と冊封される皇帝 — 契丹(遼)皇帝と北漢皇帝の事例から—	毛 利 英介	179
〃 〃	二十四諸天と二十八部衆	二階堂 善弘	187
関西大学文化交渉学教育研究拠点 東アジア文化交渉研究 六 (二二・三)	一八一八—一八一九年におけるアメリカ商船の廣州貿易	松 浦 章	191
〃 〃	東アジア木簡学の視点	藤 田 高夫	201
〃 〃	『徐霞客遊記』の行程・観察記録の書誌的検討と史料的意义 — 福建省歴史GIS構築のための基礎的検討(一)—	野 間 晴雄 松 井 幸一 齋 藤 鮎子	206
〃 〃	蜀の学堂 — 漢代成都の郡国学	藤 田 高夫	二二五
〃 〃	清代沙船航運業と上海棉布荘の『呂關莊牌簿』	松 浦 章	二四六
関西大学法学論集 六二・一 (二二・五)	ゆく人来る人 — 唐儀制令行路条の「去避来」について—	佐 立 治人	二七六
関西学院史学 三九 (二二・三)	西周時代の身分制	木 村 秀海	二九三

京都女子大学大学院文学研究科研究紀要 史学編 一二(一三三)	明清時代の天朝体制と華夷秩序	檀上 寛	三八四
〃	南朝正史西戎伝と『魏書』吐谷渾・高昌伝の訳注	菅沼 仲男	四〇四
久留米大学文学部紀要 国際文化学科編 二九(二二三)	南朝における「名家」の保存と継承(統)	野田 俊昭	374
群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学 編 六一(二二一)	新知見の中国の仏足石いくつか	石田 肇	四三六
慶應義塾経済学会 一〇五四(二二一)	「満州国」共和会研究の成果と課題	ドルネットイ・ フリッポ	381
〃	満鉄調査部弾圧事件(一九四一・四三年)再論	松村 高夫	394

* …… 論説資料のページ数の制約により、掲載できなかった長大な論文

** …… 特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

*** …… 著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第三分冊（歴史・政治・経済Ⅰ）下

言語と交流研究会 言語と交流 (二・一七)	戦前台湾の公学校の所在確認	泉 史生	1
高知大学経済学会 高知論叢 社会科学 (一〇六) (二・三三)	武官の人事評価に関する歴史的研究 — 陸海軍将官の進級と人事考課 —	田村 安興	*
神戸大学 海港都市研究 八 (一三・三〇)	「満州国」における商工省標準自動車組立工場計画とその挫折	兒玉 州平	8
神戸大学史学年報 二七 (二二・二六)	日中戦争以前における日本の対広州貿易の展開	張 傳宇	一
〃 二八 (二三・三三)	一八八〇年代の日本における清国貨幣金融改革に関する建言 — 『東京経済雑誌』を中心に —	奚 伶	二二
神戸大学文学部紀要 四〇 (一三・三三)	大清帝国の言語政策	緒形 康	18
神戸市外国語大学外国学研究所 研究年報 四九 (一三・三三)	Reconsidering the Sino-Tibetan Treaty Inscription	Kazushi IWAO	30
神戸法学会 神戸法学雑誌 六三(一) (二・三〇)	植民地台湾における行政救済制度の成立 — 訴願法施行の経緯を中心に —	小野 博司	*
高野山大学大学院紀要 二二 (二二・二二)	北魏 「大乘の乱」 に関する一考察	藤本 稔	二六
國學院法學 五〇(四) (二・三三)	領事官クロードルの中国勤務	濱口 學	35
國學院大學大学院紀要 文学研究科 四一 (二〇・三三)	唐代交通の宿泊施設 — 宗教施設の供給機能を中点として —	河野 保博	三七
〃 〃 四三 (二二・三三)	読 『旧唐書』 卷二五・卷二六 礼儀志 「宗廟」 筭記	金子 修一	四九
〃 〃 三九 (二二・三三)	漢代における三駕鹵簿の形成	田丸 祥幹	六〇
国際基督教大学 アジア文化研究 三七 (二一・二二)	太平天国の広西北部、湖南南部における活動について	菊池 秀明	59
〃 〃 三九 (二二・三三)	太平天国北伐軍の敗退と援軍の臨清攻撃	菊池 秀明	59
〃 〃 三九 (二二・三三)	幻の邪馬台国 — 魏略と魏志の間 —	蓮 沼 啓介	93
国士館東洋史学 六 (二二・三三)	『六部成語』(史部成語) 満洲語索引 — 清代政治構造分析の一環をなす旗人経済構造理解の基礎研究として —	高井 秀招	106
古代学協会 古代文化 六五(一) (二・三九)	漢代滇国における貯貝器の型式変化にみる普遍性と独自性	梶山 勝	116
駒澤大学大学院史学論集 四三(一) (二・三四)	満州事変直前における満蒙鉄道懸案解決交渉	杉山 照夫	七四
埼玉大学 国語教育論叢 一四 (二・二二)	「徐震客遊記」 訳注稿 名山遊記篇(一) — 「遊天台山日記」	薄井 俊二	八五
三康文化研究所年報 四四 (二・三三)	宋初期の首都開封の仏教と寺院	佐藤 成順	九〇
〃 〃 九六(四) (二・三七)	秦漢時代の告と劾について	椎名 一雄	*
史学研究会 史林 九六(二) (二・三五)	威寧侯仇鸞の周辺 — 十六世紀の商業化時代における明朝政治考察の一助として —	城地 孝	二一六
〃 〃 九六(四) (二・三七)	一九二〇年代初頭の広東鄉村社会 — 宗族からみる陳炯明の地方自治政策 —	宮内 肇	二三四
静岡大学人文社会科学部 人文論集 六三(二) (二・三二)	項羽政権の成立	柴田 昇	二五〇
社会文化史学会 社会文化史学 五五 (二・二二)	清朝前期の鑲藍旗旗主家	鈴木 真	一六三

(55-3下)

社会文化史学会 社会文化史学 五五 (二・一三)	金朝府制略論	孫 佳	一七
首都大学東京・東京都立大学 人文学報 四七八 (二・三三)	「満洲国」における学校放送とその機能	代 珂	一七
上智史学 五八 (二・三一)	唐末から宋初の基層社会と在地有力者 — 郷土防衛・復興とその後 —	大澤 正昭	一八一
〃	浙江省北・中部歴史調査報告 — 『清明集』的世界の地理的環境と文化的背景 (杭州・金華・蘭溪篇) —	大澤 正昭 他四名	二〇九
人文地理学会 人文地理 六五二一 (二・三四)	南満洲鉄道の成立と大豆輸送 — 駅勢圏の形成とその規定要因 —	三木 理史	127
駿河台大学 駿河台経済論集 二二二二 (二・三三)	日中両国の女性観に関して — 『女性改造』誌 (一九三三年〜一九二四年) よりみる —	前山 加奈子	138
専修史学 五一 (二・一一)	『鹽鐵論』にみる農業政策論	膳 智之	二三五
〃 五四 (二・三三)	秦漢時代の簡牘にみえる家族関連簿集成稿 (その一)	多田 麻希子	*
創価大学人文論集 二五 (二・三三)	中国仏教文献所引意昭『貞書』佚文について	満田 剛	152
大東文化大学紀要 五一 社会科学 (二・三三)	日中戦争期台湾拓殖株式会社の関係会社投資	柴田 善雅	162
大東文化大学経済学会 経済論集 九九 (二・三三)	中国興業銀行の発展、一九一三—一九一四年(上)	篠 永宣孝	174
〃 一〇〇 (二・三三)	中国興業銀行の発展(下)	篠 永宣孝	187
拓殖大学日本文化研究所 新日本学 二八 (二・三三)	日本台湾経営の今日的意義 — 開発経済学の視点から —	渡辺 利夫	二二七
武田科学振興財団 杏雨 一六 (二・三四)	敦煌秘笈の『漢書』残卷	池田 昌広	二四〇
筑紫女学園大学・短期大学部 人間文化 研究所年報 二二三 (二・二八)	秋瑾と日本	崔 淑芬	206
中央大学 人文研紀要 七七 (二・一〇)	明朝档案を通じて見た明末中朝境界	荷見 守義	二四九
中央大学文学部 アジア史研究 三六 (二・一〇)	漢初における諸侯王と礼・法	阿部 幸信	二六五
〃 三七 (二・三三)	漢長安城の考古学的発見と研究概要	劉 振東 北田 裕行 著 裕行 訳	213
中央大学 大学院研究年報 四二 文学 研究科篇 (二・一一)	「魏大饗碑」について	大原 信正	二七六
中央ユーラシア学研究会 内陸アジア言語の研究 二八 (二・三九)	内モンゴル自治区発現の突厥文字銘文と陰山山脈の游牧中原	鈴木 宏節	222
朝鮮奨学会 学術論文集 二八 (二・一一)	パン・ツングーシズムと東アジア	趙 景達	239
天理大学季報 六四一 (二・二〇)	八旗制度再考(七) — 政治構造とエートス —	谷井 陽子	244
〃 六四二 (二・三二)	八旗制度再考(八・完) — 新しい秩序の創出 —	谷井 陽子	259
桐蔭横浜大学 桐蔭論叢 二八 (二・一〇)	二十世紀前半の内モンゴル教育情勢について	シバゴチン・ チョロモン	272
東海学院大学紀要 六 (二・三二)	殷代の蝗	今井 秀周	276
東京大学史料編纂所研究紀要 一三三 (二・一〇)	『蔣洲咨文』について	須田 牧子	二八五

東京大学史料編纂所研究紀要 一三 (二・一〇)	『抗倭図巻』『倭寇図巻』と大内義長・大友義鎮	鹿毛敏夫	二九〇
東京大学東洋文化研究所紀要 一六四 (二・一一)	戦勲と官蹟 ― 明代の戦争図像と官員の視覚文化	馬雅貞	二九六
東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究 八五 (一・三三)	張鑑「文徵明畫平倭圖記」の基礎的考証および注 ― 中国国家博物館所蔵『抗倭図巻』に見る胡宗憲と徐海? ―	山崎岳	三二二
東京学芸大学史学会 史海 五九 (二・一〇)	一八世紀における北京の都市景観と住民の生活世界 ― 康熙六旬『万寿盛典図』を中心に ―	熊遠報	*
東京女子大学紀要 論集 六二一 (二・九)	「孫公亮墓」碑刻群の研究 一二一―一四世紀華北における「先塋碑」の出現と系譜伝承の変遷	飯山知保	*
東京女子大学紀要 論集 六二一 (二・九)	關風七月農事曆考證	小野恭一	三二二
東京女子大学紀要 論集 六二一 (二・九)	中宗期の女樂 ― 一五三七年の明使節の場合 ―	國原美佐子	三三九
東京女子大学紀要 論集 六二一 (二・九)	『海国図志』成立の背景 ― 十八―十九世紀中国の社会変動と経世論	茂木敏夫	三三五
東北大学東北アジア研究センター 東北アジア研究 一六 (二・二)	内モンゴル自治運動と太平洋戦争期における日本の対内モンゴル政策について ― 『日華同盟要約』を中心に	ガンバガナ	283
財団法人蒙民厚生会の教育支援事業 ― 育成学院を事例に	工藤忠資料から見た民国初年の白狼軍(白朗軍)資料からみた先秦期三峡地域の東西文化交流について	山田勝芳	303
東北学院大学論集 歴史と文化 五〇 (二・一〇)	財団法人蒙民厚生会の教育支援事業 ― 育成学院を事例に	娜荷芽	294
東洋大学アジア文化研究所 研究年報 四七 (一・三二)	五世紀の銘文刀剣と倭王権の支配体制	森公章	三四三
東洋大学文学部紀要 六六 史学科篇 三八 (一・三二)	清末行政綱目訳註(二)	千葉正史	三六四
富山国際大学現代社会学部紀要 四 (二・一)	黒龍江流域与日本東北及北海道的古代文化交流 (原文は簡体字)	王禹浪	330
長岡大学生涯学習センター 生涯学習研究年報 七 (二・三五)	満鉄併行線禁止規定をめぐって	兒嶋俊郎	334
名古屋大学東洋史研究報告 三七 (二・一〇)	前漢時代の郡国制と税役制度	紙屋正和	三八二
名古屋大学東洋史研究報告 三七 (二・一〇)	明朝の国家祭祀の構造	浅井紀	三九七
名古屋大学東洋史研究報告 三七 (二・一〇)	植民地台湾における業界団体 ― 『台北茶商公会』の歴史の意義 ―	河原林直人	340
奈良大学総合研究所紀要 二〇 (二・一〇)	敦煌凶書儀にみえる「死」の表現の語義に関する考察	楊莉	349
奈良大学総合研究所紀要 二〇 (二・一〇)	可見元代石刻拓影目録稿・四統(武宗仁宗年間)	森田憲司	355
奈良女子大学 寧楽史苑 五七 (二・一)	近代上海における愛国女学校の設立について	晏妮	四二二

奈良女子大学 寧楽史苑 五七 (一一二)	華北鄉村における巡警の設置と「警紳」——直隸省順天府を中心にして——	松尾直子	四三
新潟大学 環東アジア研究センター年報 八 (一三二)	近代日中両国軍人の政治関与と法規の比較研究	徐勇著 陳祥訳	365
新潟大学 環日本海研究年報 二〇 (一三三)	一九二〇年前後における大運河沿線地域経済の変容——『東亜同文書院大運河調査報告書』に即して——	陳祥	371
二松学舎大学 人文論叢 九〇 (一三二)	桜田門事件に関する史的考察	角谷博	四三四
二松学舎大学論集 五六 (一三三)	鳩摩羅什の足跡を訪ねて——長安からインド迄の九都市と、羅什の人生との連鎖の若干の考察——	山田勝久	四四七
日本現代中国学会 現代中国 八七 (一三九)	一九二〇年代から四〇年代における外務省文化事業部による日本見学旅行——中国人留学生のみた「帝国日本」——	羽田朝子	※
〃	曹聚仁の抗日戦争取材とジャーナリズム論——「滄海」の戦地記者による「新聞文芸論」——	鈴木航	※
日本国際政治学会 国際政治 一六八 (一一一)	戦間期日本外務省における対中外交の組織的対応——亜細亜局設置の外交史的意義——	熊本史雄	四六一
〃 一六九 (一二六)	戦間期香港におけるアヘン専売制度の運営——極東アヘン調査委員会を中心に——	古泉達矢	四六九

* …… 論説資料のページ数の制約により、掲載できなかった長大な論文

※ …… 特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

※※ …… 著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第三分冊（歴史・政治・経済Ⅰ）増刊

日本大学文理学部人文科学研究所 研究紀要 八三（二・二・三）	植民地台湾における中等教員の需給調整 — 外国及外地派遣教育職員制度を中心に —	杉森 知也	1
日本大学文理学部人文科学研究所 研究紀要 八四（二・二・九）	権門体制国家論台頭の史学史的背景と問題の所在 — 特に、中国皇帝中心的世界観との関係をめぐって —	鈴木 国弘	—
人間環境大学 人間と環境 四（二・三・一）	關於明太祖的文教政策（提要）	渡 昌弘	11
羽衣国際大学現代社会学部研究紀要 二（二・三・三）	漢都東遷に関する一考察 — 「両漢之際」の人口統計史料比較 —	安川 俊介	12
阪南論集 人文・自然科学編 四八・二（二・三・三）	シルクロード学概論（Ⅱ）	高橋 庸一郎	16
比較民俗研究会 比較民俗研究 二七（二・二・〇）	前漢首都圏空間の形成 — 咸陽原地区における漢代集落の分布と水資源の關係に主眼を置いて — 戦争体験はどのように伝承されるのか — 月嶺村の聞き取り調査中間報告 —	陳 力 王 曉葵	22 28
一橋大学大学院 言語社会 七（二・三・三）	『台湾新民報』の右転回 頼慶と新民報日刊初期のモダン化文芸欄	柳 書琴／著 佐藤 賢／訳	二五
一橋大学大学院 一橋法学 二二・一（二・三・三）	中国における人権論の二つの潮流	張 連凱	32
兵庫教育大学 東洋史訪 二〇（二・三・三）	寧波における基督教の伝来とその史的展開	周 志知	46
広島史學研究會 史學研究 二七八（二・三・一）	中国近代史の描き方 — 近年の二つの著作を中心として — 律令国家成立期の天皇観と儀制令天子条天子号規定	曾 田 三郎 長谷部 寿彦	二四 二九
広島大学大学院 比較日本文化学研究 六（二・三・三）	中国黒龍江省と日本との関わり	陳 大陸	***
広島東洋史学研究会 広島東洋史学報 一五・一六（二・二・二）	「満州国」への日本移民について — 北滿入植の原因分析を中心に — 一九三〇年代の中国における綿紡織工場の設備導入について	王 妮	***
福井大学教育地域科学部紀要 三（二・三・一）	国共内戦期、中国共産党冀魯豫根拠地の参軍運動	丸 田 孝志	59
福井大学教育地域科学部紀要 三（二・三・一）	九世紀、鹿助集団への再考と対南詔戦争事情素描	山 根 直生	69
福岡教育大学紀要 六二 第一分冊 文科編（二・三・二）	中国の民族問題とモンゴル族をめぐる研究動向	ハム ゴト	79
佛敎大学 歴史学部論集 二（二・二・三）	宋書孝義伝にみえる自売十夫と雇備制	山 根 清志	四一
佛敎大学 歴史学部論集 二（二・二・三）	『明状元凶考』訳注（稿） 五	鶴 成 久章	四七
佛敎大学 歴史学部論集 二（二・二・三）	泰東書道院の満州外交 — 鄭孝胥と清浦奎吾の遣り取りを中心として —	松 宮 貴之	五四
佛敎大学 歴史学部論集 二（二・二・三）	元朝の財政と鈔	宮 澤 知之	83
佛敎大学 歴史学部論集 二（二・二・三）	混成第九旅団の日清戦争（三） — 新出史料の「從軍日誌」に基づいて —	原 田 敬一	六九
佛敎大学 歴史学部論集 二（二・二・三）	宋代明州城の都市空間と樓店務地（上）	山 崎 覺士	94

桃山学院大学環太平洋圏経営研究 (一三・一四)	中国における災害対応救済と福祉事業の歴史的研究	孟冬	256
桃山学院大学 人間科学 四四 (一三・一四)	Liu Zhidan and his "Bro's in the Hood": Bandits and Communists in the Shaanbei Badlands(1)	XU Youwei Philip BILLINGSLEY	268
山口大学 異文化研究 七 (一三・三)	司馬遷の盛世之憂與庶民情結	馬彪	291
山口大学大学院 東アジア研究 一〇 (二・一四)	東アジアの中の中国・韓国・日本 ―引揚げを題材として―	全京秀	296
山梨学院大学大学院 研究年報 社会科学 学研究 三三 (一三・一四)	清末中国における日本人法律教員および法律顧問 招聘の経緯について ―京師法律学堂と修訂法律 館による招聘を中心に―	熊達雲	304
横浜国立大学論叢 人文科学系列 六四 (一三・一四)	元代江西の帝師殿と呉澄 ―撫州路・南安路帝師 殿碑撰文の背景―	乙坂智子	二五七
立正史学 一一 (二・三)	明代中期における辺鎮への文官派遣	本橋大介	二八二
立正大学 文学部論叢 二二六 (一三・三)	敦煌吐魯番「発病書」小考 ―ロシア・ドイツ蔵 文獻の試釈と『占事略決』との比較を通して―	岩本篤志	二九〇
立命館大学 社会システム研究 二四 (二・一四)	敦煌吐魯番文書とソグド研究 ―七〜十世紀の東 ユーラシア史研究の手引き―	岩本篤志	三〇七
立命館史学 三三 (二・二一)	帝国教育会主催の中国大陸視察旅行 ―一九一 九年の「第一回支那及滿鮮視察団」・一九二九年 の「支那教育視察団」・一九三九年の「皇軍慰問並 に日滿教育親善使節派遣」―	宋安寧	323
立命館文學 六三 (一三・三)	一九二〇年代における植民地台湾の政治運動の再 考 ―明治維新解釈の視点から―	楊素霞	337
立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀 要 七 (一三・七)	矢内原忠雄と中国 ―「国家の理想」から王明道訪 問へ―	松谷曄介	347
琉球大学移民研究センター 移民研究 九 (一三・九)	宋代女性の死亡年齢と結婚年齢 ―墓誌銘の記載 より―	清水嘉江子	三〇〇
歴史学会 史潮 七三 (一三・七)	西周代陝東系外諸侯帰順考 ―姫「冒姓」事例及 び系譜改編事例に関連して―	谷秀樹	361
歴史人類学会 史境 六四 (一三・三)	《天亡》私考 ―殷周革命論ノート(二)―	高島敏夫	三三三
歴史学 六五 (一三・三)	植民地統治期台湾から石垣島名蔵・嵩田地区への 移動について ―石垣町役場作成の寄留簿の分析 を通じて―	松田良孝	371
歴史学 六六 (一三・三)	『戦国策』韓策所見の「質子」の解釈をめぐる 六〜八世紀のモンゴリア、中央アジア、北中国 ―突厥王侯の幕廟から見た文化複合―	佐々木研太	三三九
和歌山大学 空間・社会・地理思想 一六 (一三・三)	「雍正の錢貴」はあったのか？	林俊雄	三三八
和歌山大学経済学大会 経済理論 三七 (一三・一四)	華僑と福建事変 ―僑郷における地域的利害関係 に着目して―	上田裕之	三四八
和歌山大学経済学大会 経済理論 三七 (一三・一四)	満鉄調査部における地理学者の思想的展開 ―増田忠雄の「文化圏」研究と地政学への接近に注 目して―	松野友美	三五九
和歌山大学経済学大会 経済理論 三七 (一三・一四)	清代八股文における破題・承題の作成法について (六)	柴田陽一	380
和歌山大学経済学大会 経済理論 三七 (一三・一四)	明・景泰帝の諡號について(三)	滝野邦雄	389
和歌山大学経済学大会 経済理論 三七 (一三・一四)	明・景泰帝の諡號について(三)	滝野邦雄	396

早稲田大学 二〇世紀メディア研究所 Intelligence 13 (一三・一三)	張鼓峰事件における日本陸軍の情報活動	宮 杉 浩 泰	406
早稲田大学考古学会 古代 一一五 (二・一)	墓からみた馬家浜文化の地域性	久 保 田 慎 二	412
早稲田大学史学会 史観 一六九 (二・三・九)	唐代における左藏庫と内藏庫の変遷について	吳 志 宏	三七〇
早稲田大学東洋史懇話会 史滴 三四 (二・一・二)	献俘礼から見た唐・宋軍礼の変容	王 博	三七八
〃	内蒙古自治区中南部城址視察記 —フフホト市・包頭市を中心に—	水 沼 間 大 輔	三九二
早稲田大学大学院 教育学研究科紀要 別冊 一九一—(二二二)	渤海半拉城出土「二仏並座像」の基礎的整理	森 田 智 子	424
早稲田大学大学院 社会学論集 二二 (三・一)	塘沽停戦協定の研究	山 口 真 理 子	430
早稲田大学大学院 早稲田政治公法研究 一〇一—(三三・四)	日中戦争期興亜院発足前の華北における農林官僚 湯河元威の活動(一)	正 田 浩 由	437

* …… 論説資料のページ数の制約により、掲載できなかった長大な論文

** …… 特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

*** …… 著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第四分冊 (歴史・政治・経済Ⅱ) 上

愛知大学 国際問題研究所紀要 (二二・三)	一二九	中国の壮年期及び中年期の農婦における健康保持 資源と健康状態との関係 — 中国河北省L村のケ ースタディから—	三橋 かほり	1
”	”	四川における一九五〇〜六〇年代の民族研究(二) — 李紹明が語る「中国少数民族問題五種叢書」と 政治民族学	松岡 正子	9
”	一四〇 (二二・二)	寧夏回族自治区における節水型農業、農村建設	馬場 毅	19
”	”	”潔淨”的村庄 — 毛時代義村の政治儀式与社会 形態 (原文は簡体字)	衛 小将	32
”	二四一 (二二・三)	友好と離反のはざままでしむ日中関係一九七九— 一九八七年 — 中越戦争から民主化運動へ—	馬場 公彦	45
愛知学院大学大学院 経研会紀要 (二二・二)	一四	中国における化粧品市場の成り立ちと今後の展望 企業への国際化による環境意識移転 — 環境コミュ ニケーションの国際的展開	宮本 文幸	64
”	”	中国企業従業員の離脱行動に関する研究 — 「欠勤」「遅刻」を中心に—	徐 少丹	73
愛知県立大学外国語学部 紀要 四五 地域研究・国際学編 (二二・三)	四五	中華人民共和国における「選挙民主主義」の現状 — 近年における選挙制度改革と研究動向—	鈴木 隆	80
愛知工業大学研究報告 四七 (二二・三)	四七	地域糯米食文化に関する考察 — 南京市淳化街道 咸墅村の事例研究—	甘 靖超	89
愛知淑徳大学 現代社会科学研究報告 九 (二二・三)	九	大連における日本人コミュニティの諸相 — 八〇年代以降を中心に—	林 楽青 孫連太郎	94
青山国際政経論集 八八 (二二・九)	八八	文化大革命と人民解放軍 — 軍部統治の形成と林 彪、林彪事件—	林 載桓	100
”	八九 (二二・二)	「六九年危機」再考 — 毛沢東、軍、米中接近—	林 載桓	114
朝日大学経営論集 二六 (二二・三)	二六	中国の大学生における日本的資源管理の容認	梁 藤里美	123
アジア経済研究所 アジア経済 (二二・二)	五三二	中国淮河流域における水環境行政の形成と発展	大塚 健司	133
”	五三二	台湾の対外援助における目的とアプローチ	近藤 久洋	146
”	五四二 (二二・六)	戦後台湾山地社会における言語政策の展開 — 日本語の排除から先住民族言語の排除へ—	森田 健嗣	159
宇都宮大学国際学部研究論集 二八 (〇九・九)	二九 (二〇・二)	北京オリンピック大会をめぐる評価の類型とその 特性	中村 祐司	173
”	三四 (二二・九)	中ソ同盟の成立(一九五〇年) — 「戦後」と「冷戦」の結節点—	松村 史紀	182
桜花学園大学人文学部 研究紀要 (二二・二)	一四	「南京大虐殺」歴史事実の調査に携わって	高 文軍	190
桜美林論考 桜美林エコノミックス (二二・二)	三	市場経済への移行過程における中国地方財政の 変化	座間 紘一	195
桜美林大学 桜美林論考 人文研究 (二二・二)	三	The Sino-Japanese Geopolitical Confrontation in the East China Sea-I	SUGANUMA Umyu	202

大阪大学	日本学報	三二	(二・二三)	喜友名嗣正が見た「日本」——琉球独立運動と「台湾省琉球人民協会」の活動から——	富永悠介	212
大阪大学大学院	阪大法学	六三三・三四	(二・三一・一)	G・F・ケナンと台湾防衛政策の起源	高橋慶吉	—
大阪経済大学	経営経済	四七	(二・一一・一)	中国における自動車向け大物プラスチック金型の 地場メーカーの分析——広域上海圏における地場 金型メーカーの取引実態と技術レベル——	斉藤栄司	224
大阪国際大学	国際研究論叢	二四三	(二・一二)	中国東北三省の日系企業の進出現況調査報告(そ の二)	宇山他三名博	235
〃	〃	二五一	(二・一〇)	中国東北三省の日系企業の進出現況調査報告(そ の三)	宇山他三名博	242
〃	〃	〃	〃	中国における炊飯器市場をめぐるパナソニックと 美的集団のマーケティング戦略の比較分析	王丹霞	259
大阪産業大学経営論集	一五一	(二・一〇)	〃	天津滨海新区におけるまちづくりについて	王丹霞	277
〃	〃	〃	〃	中国炊飯器市場をめぐるパナソニックの拡大戦略 ——上海市場調査及び消費者の省エネ意識を中心に ——	王丹霞	289
大阪産業大学経済論集	一四一	(二・一〇)	〃	法人税の二重課税調整の理論と現状に関する一考 察——中国における法人課税のあり方に向けて——	薄斌	306
〃	〃	一四三	(二・一〇)	中国における二〇〇八年新企業所得税法の影響 ——上場企業の実質負担率を中心に——	薄斌	316
大阪市立大学	季刊経済研究	三四一・二	(二・一九)	「在中日系企業的女子労働」の研究方法与分析	濱田英次	325
大阪市立大学大学院	創造都市研究	七二	(二・一二)	中国の気候変動政策と国際協力	古賀章一	339
岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要	三三二	(二・一一)	〃	草原における農業開発とその影響——中国内モン ゴル自治区を事例として——	王桂蘭	348
〃	〃	三三三	(二・一一)	中国における慈善事業管理の制度的諸問題と改善 の方向	趙俊男	358
岡山理科大学紀要	四七B	人文・社会 科学	(二・一二)	中国雲南省における伝統的土器製作とその地域差 ・民族差——新平彝族傣族自治州及び元江哈尼族 彝族傣族自治州の比較を中心として——	徳村啓介	367
香川大学経済論叢	八六・二	(二・三・九)	〃	再創成された地域ブランドと観光資源——春節祭 を事例として——	王維	*
学習院大学法学会雑誌	四八一	(二・一九)	〃	中国にとつての東アジア共同体(一)	中居良文	377
金沢大学	人間社会環境研究	二六	(二・一九)	中国の対アフリカ首脳外交と政策の展開	尹曼琳	386
関西大学商學論集	五八・二	(二・三・九)	〃	中国における環境管理会計の構築に向けて (中国の持続的経済発展に寄与するMFC A)	中島道靖	394
関東学院大学	関東学院法学	一三二	(二・三・七)	中国知的財産権硯候(二二)——実録——中国知的賤 産権——	福山啓達 魏林達 北京林達 産権代理事務 所	*
〃	〃	一三二	(二・三・二)	中国知的財産権硯候(二二)——実録——中国知的賤 産権II——	福山啓達 魏林達 北京林達 産権代理事務 所	*

著者	書名	頁
環日本海経済研究所	ERINA REPORT	
111 (一三・四)	G I T大図們江地域(G T R)横断輸送回廊に関する統合輸送インフラ及び国境通過円滑化調査	バルバラ・クレチエトワ
"	大図們江地域(G T R)横断輸送回廊の現状と展望(中国区間)	高美真
"	中国東北地域における都市商業銀行の現状と課題	西田顕生
"	中国東北地域における財政運営の現状と展望	李紅梅
"	中国東北地域の農村労働市場と過剰労働	李聖華
"	China's Involvement in Mongolian Mining Sector and Contributions to the Local Economy	山峰
"	114 (一三・一〇)	B. Indra B. Arunzul Ts. Enkh-Uyanga
"	中国東北地域における政府部門の投資状況分析	李紅梅
"	中国はなぜ都市化を推進するのか? — 地域開発から都市化へ	岡本信広
"	115 (一三・一二)	徐一睿
"	中国の地方債務問題の再考 — 「地方政府融資平台(LGFV)を中心に」	張兵
"	中国における海洋経済発展戦略の政策展開とその実態 — 「山東半島藍色経済区発展規画」を事例に	天野祐堯
"	中国の地域発展戦略の策定状況 — その特徴と課題	穆野子
環日本海経済研究所	北東アジア経済アップデート	
2013 (二二・一一)	2013 (二二・一一)	朱永浩
北九州市立大学	外国語学部紀要	
113 (一三・八)	東亜経済一体化中的日元与人民幣 — 日中競争的可能性与合作的必要性(原文は簡体字)	下野寿子
"	中国における住宅金融制度の展開	中岡深雪
北九州市立大学基礎教育センター紀要	九(一・一三)	赤坂真人
九州国際大学研究紀要	人文・社会科学系 二二(一一・二)	徐亜久
九州大学留学生センター紀要	二〇(二・二)	阿部康久
九州共立大学研究紀要	三二(二・三三)	林島
九州産業大学	エコノミクス 一八一(三・八)	大島まな
九州産業大学経営学大会	経営学論集 二二(一一・七)	朝元照雄
九州情報大学研究論集	一五(一一・三)	小野瀬
"	欧米政府債務問題の長期化と中国の財政リスク	甘長青
九州情報大学研究論集	一五(一一・三)	甘長青
京都大学	法学論叢 一七三(一七・七)	浅田正彦
京都産業大学法学会	産大法学 四六(二・二)	魚從勉
京都産業大学論集	人文科学系列 四五(二・二)	大栗真佐美
杏林大学	杏林社会科学研究 二八(四・二)	劉迪

金城学院大学論集 社会科学編 九二二 (二二・三)	中国におけるカルフルの人的資源管理の現地化 について——関係者へのインタビューを通じて 直接支払制度の多様化と国際比較(一)——中国の 「退耕還林事業」と日本の「中山間地域対策」—— 台湾における日系小売企業の出店行動と現地適応 可能性	朱 武 山 内 良 一	541
熊本学園大学経済論集 一七二・二六 併号(二二・三)	台湾における日系小売企業の出店行動と現地適応 可能性	柳 純	549
久留米大学 商学研究 一七一 (二二・一〇)	台湾エレクトロニクス受託製造企業のビジネスモ デルと競争優位性	永 池 克 明	556
久留米大学法学 六八(二三・五)	毛沢東の人民内部矛盾論の初期版について	小 竹 一 彰	569
慶應義塾大学日吉紀要 中国研究 六 (二二・三)	蒋介石と国連の成立——ダンバートン・オークス からサンフランシスコへ——	段 瑞 瑞 聡	*
甲南大学経営学云 甲南経営研究 五四(二二・三・九)	日本・韓国・台湾企業の管理会計に関する実態比 較研究——組織能力を中心として——	長 坂 悦 敬 前 田 貞 芳	582
神戸大学 近代 一〇六(二二・三)	「民族的」戦略の限界と公共性——ある中国沿海部 ムスリム社会の「改革開放」	王 柯	一七
神戸大学 国民経済雑誌 二〇五・三 (二二・三)	中国の省間格差…新局面は出現したのか	陳 光 輝	602
” 二〇六・二(二二・八)	中国資本主義の現段階——国進民退は起きている か?——	加 藤 弘 之	607
” 二〇六・五(二二・二)	中国経済の動的非効率性に関する実証分析 ——AMSZ基準を用いた検討——	梶 谷 懐	616
” 二〇六・六(二二・二)	日本企業に対する合併・買収の多様化…欧米企業 と中国企業の合併・買収目的の比較	金 成 珉	626
神戸大学社会学研究会 社会学雑誌 二九(二二・三)	階級論の観点から見た中国農民工の生活状態と社 会意識——吉林省長春市農民工の事例を中心に——	北 川 宗 忠	633
神戸海星女子学院大学 研究紀要 五〇 (二二・三)	わが国における「観光」関連用語の軌跡	小 林 善 文	637
神戸女子大学文学部紀要 四五 (二二・三)	南水北調政策の課題と展望	王 霜 媚	643
” ” 四六(二三・三)	比較文化の視点から見た近現代の日台女性	小 林 善 文	653
国際アジア文化学会 アジア文化研究 一九(二二・六)	鄱陽湖の開発と環境	山 田 美 香	四〇
国際農林業協働協会 国際農林業協力 三四・三(二二・二)	台湾の少年法院と明陽中学	張 汝 秀	659
国際文化表現学云 国際文化表現研究 九(二二・三)	海外植林活動(環境造林) 日中間緑化協力委員 会資金による中国での緑化活動紹介	須 崎 幸 男	662
駒澤大学 駒澤法学 二二三・四 (二二・三)	アジア水戦争と中国の水危機	岡 崎 匡 史	*
埼玉大学 日本アジア研究 九 (二二・三)	中国の独禁法における域外適用——その導入背景 と制度構造の解析——	王 志 安	670
佐賀大学経済学云 経済論集 四五二 (二二・七)	韓国在住の中国朝鮮族を訪ねて——問題発見の旅 ——	金 銀 実	676
” ”	中国における小企業会計の展開——「小企業会計 制度」を中心として——	劉 丹	688
札幌学院大学 経済論集 四(二二・三)	延辺朝鮮族自治州における労働力移動の原因 ——一九九四年を中心として——	鄭 菊 花	696
	寧夏における開発と環境復元——西部大開発問題 の複眼的研究より——	浅 川 雅 巳	

札幌学院法学 二八―二 (二二二)	中国刑事訴訟法改正と「取調べの可視化」問題 ―正義と法的安定性の葛藤―	鈴木敬夫	700
〃 二九―一 (二二二)	権力と良心 ―中国の「和諧(調和)権」と「公衆参 与」―	鈴木敬夫	719
滋賀大学経済学会 彦根論叢 三九五 (二二二)	医療保障システムにおける民間保険 国際比較と 中国の現状	李蓮花	740
滋賀県立大学 人間文化 三〇 (二二二)	中国の生産建設兵団と内モンゴルにおける資源開 発 ―内モンゴル新興都市ホーリンゴル市の建設 過程を通して―	包宝柱	748
静岡産業大学 環境と経営 一七―二 (二二二)	宝鋼のコンピュータ管理システムの形成過程	劉志宏	756
静岡大学人文社会科学部 人文論集 六三―二 (二三二)	中華人民共和国初期における「社会教育」と大衆 運動 ―天津市の事例から―	戸部健	四九
島根大学 経済科学論集 三八 (二二三)	中国・寧夏回族自治区における循環経済の一断面	関耕平 他三名	767
島根県立大学 総合政策論叢 一三三 (二二三)	現代中国における都市の社区建設と社会管理 ―山東省の事例を中心に―	江口伸吾	781

* …… 論説資料のページ数の制約により、掲載できなかった長大な論文

* …… 特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

* …… 著作権者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

第四分冊 (歴史・政治・経済Ⅱ) 下

社会学研究会 ソシオロジ 一七二 (二・一〇)	一九五〇年代中国の近代化と対日協力者 — 旅順工科大学出身中国人同窓生を事例に —	佐藤 量	一
社会文化史学会 社会文化史学 五六 (二・一〇)	植民地記憶とツーリズム — 大連市の事例から —	隋 藝	一〇
上智大学 コミュニケーション研究 四二 (二・三三)	台湾メディアの三・一一震災報道 — 『聯合報』の 内容分析を中心に —	沈 霄虹	1
人文地理学会 人文地理 六五—五 (二・一〇)	ジオパークとジオツーリズムの展望 — 日本と中 国の事例から —	深 見 聡	14
〃 六五六 (三・一一)	A Comparative Study of Chinatowns around the World: Focusing on the Increase in New Chinese Immigrants and Formation of New Chinatowns	YAMASHITA Kiyomi	20
椋山女学園大学研究論集 四三 社会科 学篇 (二・二〇)	中国東部沿海開発地域における都市近郊農村の二 元的社会構成 — 昆山市張浦鎮張浦村の事例研究 —	黒柳 晴夫	29
鈴鹿工業高等専門学校紀要 四六 (二・二)	毛沢東の権力闘争と対の思想 — 李志綏『毛沢東の私生活』の分析を手掛かりと して(序章) —	小倉 正 昭	二二
〃	整風運動と対の思想 — 李志綏『毛沢東の私生活』の分析を手掛かりと して(一) —	小倉 正 昭	三三
〃	「大躍進」に対する思想 — 李志綏『毛沢東の私生活』の分析を手掛かりと して(二) —	小倉 正 昭	四三
〃	戸別農地請負制と対の思想 — 李志綏『毛沢東の私生活』の分析を手掛かりと して(四) —	小倉 正 昭	五四
成蹊大学 一般研究報告 四六 (二・二)	北京の「韓国城」(コリアンタウン) — 改革開放 が生み出した新しい都市コミュニティ —	趙 貴 花	38
仙台大学紀要 四三— (二・九)	公園の高齢者向け健康遊器具の活用方策について — 日本の在宅高齢者の健康保持に向けて — その 二 中国における設置・活用事例(青海省および 瀋陽市)	朴 泰 濛 馬 佳 濛	48
仙台大学大学院スポーツ科学研究科 修 士論文集 一一三 (二・三)	中国上海市盧湾区の養老院におけるサービスの現 状と課題	侍 和 政 小 池 幸	57
大東文化大学紀要 五一 社会科学 (二・一〇)	現代中国の多国籍・周辺外交と海洋戦略・南シナ 海をめぐる国際関係	齊 藤 哲 郎	61
高岡法科大学 高岡法学 三〇 (二・一〇)	中国競争法における事業者結合規制に関する一考 察	姜 姍	69
拓殖大学海外事情研究所 海外事情 六〇— (二・一)	中国の台頭とアジア太平洋における安全保障ア キテクチャの変容	佐 橋 亮	六五
〃 六〇—三 (二・三)	二〇一二年総統選挙に見る台湾政治 — 『蔡英文時代』の検証・民進党の変化と限界 —	高 野 華 恵	七七
〃 六〇—四 (二・四)	東南アジアと中国 — ASEAN中国FTA時代 の経済と外交 —	吉 野 文 雄	八四
〃	中国とインドの経済関係… 補完的關係の発展と摩 擦	朱 炎	九二
〃 六〇—六 (二・六)	近年の日台関係と「台日特別パートナーシップ」 について	丹 羽 文 生	一〇〇

拓殖大学海外事情研究所 海外事情 六〇九 (二・一九)	中国の中央アジア外交 — 安全保障、資源エネルギー、経済面での協力と今後の課題 —	渡辺 紫乃	一〇七
拓殖大学日本文化研究所 新日本学 三〇 (二・三九)	中国経済の闇の奥	名越 健郎	二二六
筑紫女学園大学・筑紫女学園短期大学部 紀要 七 (二・二一)	中国新疆北部地区現代化における諸問題について の一考察	宮崎 正弘	二二四
千葉商大紀要 四九二 (二・三)	建国直後における中国の対日政策	石 其琳	83
中央大学経済研究所年報 四一 (二〇・一〇)	人口高齢化、農民工問題と中国年金制度改革の行 方	廉 舒	90
中央大学法学会 法学新報 二二〇・三 (二・一八)	台湾における不完全給付 — 日本の学説の盲従？ —	陳 若	94
中央学院大学社会システム研究所紀要 二二二 (二・三二)	祭祀公業の変遷 — 派下資格の取得を中心に —	陳 自強／著 黄 詩淳／監訳 新井 誠	二三〇
中央大学総合政策学部 総合政策フォー ラム2011 六 (二・一)	中国におけるビジネス日本語教育について	黄 詩淳／著 新井 誠／監訳	二四〇
2012 七 (二・二)	中国における過度労働の諸問題	王 玉珊	102
中京大学 総合政策論叢 二 (二・三)	中国における労災保険制度の運営状況及び改革の 諸問題	塚本 隆敏	107
筑波大学 図書館情報メディア研究 一〇一 (二・一九)	寧夏自治区回漢民族間の企業家精神の相違につい て — 一九九二年寧夏自治区社会科学規画研究プ ロジェクトの調査データを利用して —	塚本 隆敏	120
帝塚山大学法学会 帝塚山法学 二四 (二・一〇)	中国労働市場の構造変化	塚本 隆敏	132
天理南方文化研究会 南方文化 三八 (二・一二)	インドネシアにおける中国援助 — スラマドゥ橋 とアチエの災害復興支援を中心に —	丸 川 知雄	155
東京大学出版会 UP 四二一 (二・一)	中国の職務に関する著作権制度について	首 藤 もと子	164
東京大学大学院 ODYSSEUS 15 (二・一〇)	中国国際親族法に関する一考察	李 繩 正 登暢	179
東京国際大学論叢 商学部編 八五 (二・一〇)	インドネシアにおける国籍法(一九五八年)施行過 程における華人の反応 — 中国語紙の分析から —	松 村 智雄	205
東京国際大学大学院 商学研究 二二 (二・一九)	尖閣諸島問題をめぐる言説空間 — 中国における 歴史認識	黄 勅 霆	187
” 一三三 (二・一九)	鳥の卵を追う漁民の海から国家のひしめく海へ — 東シナ海の島々	川 島 真	二五二
” 一三三 (二・一九)	返還後の香港における区議会選挙	川 島 真	二五六
” 一三三 (二・一九)	Roasted Sweet Potatoes in China: A Brief Survey	谷 垣 真理子	219
” 一三三 (二・一九)	中国におけるコンビニエンス・ストアの競争優位 の構築について — 顧客との関係性の視点から —	Barry Duell	232
” 一三三 (二・一九)	中国における上海GMのマーケティング戦略 — 広州ホンダとの比較に基づいて —	方 飛 卡	242
” 一三三 (二・一九)	中国における労働市場の構造変化	方 飛 卡	255

同志社大学人文科学研究所	キリスト教社会問題研究 六一(二二・二二)	Research Conducted Regarding Christian Colleges in China: History and Development since the 1980s	陶 飛 亜	262
同志社政策科学研究 一四一(二二・二二)	「生存の知恵」と中国の発展に関する研究		鄧 正 来	280
東北大学 GEMC Journal 8 (一三・一三)	DIVERSIFYING WELFARE RESPONSIBILITIES AND MOBILIZING THE VOLUNTARY AND NON-PROFIT SECTOR: Comparative Analysis of China and Japan	KANDA Fumi	***	
東北大学文学会 文化 七五・三・四(二二・二二)	中国の改革開放時代における結婚のタイミミング・ライフヒストリーデータの統計的分析から	千 早 健 次		290
東北大学大学院 国際文化研究科論集 一九(二二・二二)	中国地域間の「段階的な私有化」に関する考察 —北京・温州・重慶における市民調査の比較分析を中心として—	葉 剛		296
〃	中国からの輸入食品へのトレーサビリティ導入に対する日本人の選好 —Conjoint分析に基づくアンケート解析—	宋 重 野 芳 瑠 人		303
東洋大学アジア文化研究所 研究年報 四六(二二・二二)	中国におけるM&Aの法規制について	金 洪 玉		310
〃	Some suggestions on "General Principles of Commercial Law of China": Principles and Framework	LIU Yongqiang WANG Yatang		316
〃	中国における緑化政策について —退耕還林・草政策と陝北地区移民新村戸口調査(一)—	飯 塚 勝 重		323
〃	中国における緑化政策について —退耕還林・草政策と陝北地区移民新村戸口調査(二)—	飯 塚 勝 重		332
徳島文理大学研究紀要 八五(二二・二二)	中国の文物商店 上海・南京・蘇州・杭州	高 畑 常 信		二六二
〃	中国の文物商店 天津・北京・山東・安徽・福州・南昌・広州	高 畑 常 信		二七七
徳島文理大学 比較文化研究所年報 二八(二二・二二)	韓国人が見た朝鮮戦争	高 畑 常 信		一九五
長崎大学教育学部紀要 教育科学 七六(二二・二二)	マカオの学校制度 —香港、台湾、中国本土との比較を通じて—	楠 山 研		340
長崎外大論叢 一四(二〇・二二)	サオ語の小辞について	新 居 田 純 野		347
長崎県立大学東アジア研究所 東アジア評論 五(二二・二二)	中国の国際配達市場と大手四社の現状	陳 怡		355
〃	中国の国際物流産業における外資企業の現況	鄭 輝 容		358
長崎県立大学大学院経済学研究科論集 エコノミスト・ナガサキ 一九(二二・二二)	中国における家電量販店の課題と展望	羅 靈 芝		361
〃	中国における日系小売業の展開と展望 —イトーヨーカ堂を事例として—	任 曜		374
長崎国際大学論叢 二二(二二・二二)	中国社会における地域の変容と高齢者福祉の課題 —東北地方の農村高齢者の生活実態調査を通して—	韓 榮 芝		385
中村学園大学 流通科学研究 二二(二二・二二)	中国における無店舗販売の発展とその課題	徐 文 涛 謝 婷		391

中村学園大学 流通科学研究 二二一 (二一九)	中国生鮮農産物の流通と課題	徐甲斐	398
〃 二二二 (二三三)	中国における“Quality Education”教育の調査報告 — 華東師範大学を訪問して—	坂本健	403
名古屋大学法政論集 一五一 (二三九)	中国における国家賠償法(一)	李竜賢	二〇〇
名古屋大学大学院国際開発研究科 クク ロス八 (二二二)	中国朝鮮族の人口移動及び社会変容 — 營口地区 朝鮮族の事例を通じて	李明月	407
〃	名古屋華僑社会の生成と発展 — 華僑組織の変遷 を中心に—	張慧婧	415
名古屋大学大学院 国際開発研究フォー ラム 四一 (二二二)	On the Empirics of China's Inter-regional Risk Sharing	Jia Li	423
名古屋外国語大学外国語学部 紀要 四三 (二二八)	現代中国の社会変動とメディア政策に関する分析 及び考察 — 群体性事件とネット世論の影響力—	川村範行	433
名古屋学院大学大学院 経済経営論集 一五 (二二三)	中国における経営倫理の新たな潮流と課題 — 日中比較の視座—	井手芳美	445
〃	長江デルタにおける日系企業 — 上海・杭州・無 錫の経済開発区を事例として—	白斌明	457
名古屋経済大学法学会 名経法学 三三 (二二〇)	中国上場会社の独立董事(取締役)制度における問 題点と対策	金英豪	二三四
名古屋市立大学 オイコノミカ 四八二 (二二)	中国造船産業の組織構成	張珈銘	465
名古屋市立大学大学院人間文化研究科 人間文化研究 一六 (二二二)	一九五〇年代における日本の台湾輸出	やまだあつし	477
奈良大学紀要 四〇 (二二三)	成都市東南郊における集市の近年の動向	石原潤	484
奈良大学地理学会 奈良大地理 一九 (二二〇)	西安市における蔬菜卸売市場の近年の変貌	石原潤	490
南山大学経営学会 南山経営研究 二七三 (二二三)	中国への日本的HRM移転可能性と課題 (Sグル ープの事例研究— 華北・華南比較検証—)	願興寺 皓之	493
南山大学大学院 国際地域文化研究 八 (二二〇)	台湾の言語政策と客家 — 客家運動の展開と客家 基本法—	内山智敬	五三三
新潟大学 現代社会文化研究 五一 (二二二)	中国の不動産登記制度と建物区分所有をめぐる問 題点	高健	503
〃 五七 (二二二)	中国の流通業における対外開放	包振山	512
新潟大学 東アジア—歴史と文化— 二二 (二二三)	現代中国社会における宗族問題についての再検討	俞慰剛	521
新潟大学大学院 経済開発と環境保全の 新視点 四 (二二三)	Research on Sustainable Development in Rural China: A Review	Qin, Bing-Tao	530
〃	二極化する経済・社会構造における教育機会均等 の問題 — 「大学入試移民」を中心に—	楊雲	536
〃	中国東北三省における経済財政運営の現状と課題	李紅梅	544
西日本工業大学紀要 四一 (二二七)	環境経営の視点から日中の企業環境対応の比較	皆川重男	551
二松学舎大学東アジア学術総合研究所集 刊 四三 (二二二)	中国労働者の法意識 — 中国人の法意識(六)—	何淑敏	555
日本語文化化学研究会 言語文化と日本 語教育 四一 (二二六)	中国人ビジネス関係者の電話会話終結部の分析 — クレーム場面のロールプレイ会話を通して—	服部明子	573

日本現代中国学会 現代中国 八七
(二二・九)

ネット空間と現代中国社会の変容 ―中国式「人肉検索」とネットでの民意アビールについて― 羽根 次郎／著 ※

” 大衆化するシノワズリ ―日本人旅行者の上海イメージと上海の観光都市化― 岩間 一弘 ※

” 中国とWTO ―加盟一〇年を経たWTOルールの遵守状況とWTOへのアプローチの分析― 吉川 純恵 ※

” 華北農村における階級政策と村落社会 ―一九五〇～一九六〇年代河北省を中心に― 河野 正 ※

日本国際政治学会 国際政治 一六八
(二二・二)

米中ソ三角外交とベトナム和平交渉、一九七二―一九七三―「名譽ある和平」と「適当な期間」の狭間で― 手賀 裕輔 二五九

” 中国の「公民社会」と民主化の行方 ―曲折するソーシャルメディアと政治制度改革の関係― 阿古 智子 二六六

*……論説資料のページ数の制約により、掲載できなかった長大な論文

※……特集号・専門誌などに掲載されたために紹介にとどめた論文

***……著作者と連絡がとれなかったため紹介にとどめた論文

広島経済大学研究論集 三四三 (二・一二)	台湾物権法の改正とその動向について	宮畑 加奈子	152
広島修道大学 修道商学 五二二 (二・一〇)	中国における家電市場の考察——ハイアールの販売システムとマーケティング戦略を事例として—— クリーン開発メカニズムと持続可能な発展 ——中国とインドを中心に——	王 玉蘭	155
広島修道大学 人間環境学研究 一〇 (二・一二)	近現代中国の同業団体と商工業税政に関する覚書	羅 星仁	168
広島東洋史学研究会 広島東洋史学報 一五・一六 (二・一二)	中国の農村改革と土地政策	金子 肇	177
福井県立大学経済経営研究 二五 (二・一二)	中国における移転価格税制に関する一考察(一)	鄭 海東	181
福岡大学大学院論集 四四一 (二・二七)	中国進出企業における会計上の諸問題	鮎 慧	195
福山大学経済学論集 三六一二 (二・二三)	中国における近代化の新時代	許 霽	205
佛教大学 社会学部論集 五三 (二・一九)	中国朝鮮族のグローバルな移動と韓国人、脱北者の関係	張 琢 星 明 星 潔	213
佛教大学 文学部論集 九六 (二・二三)	中国雲南省元陽県棚田地域における観光開発と地元民の対応	孫 潔	225
文教大学大学院付属言語文化研究所 言語と文化 二四 (二・二三)	台湾と朝鮮戦争——開戦初期の国府の対応を中心に——	高 鮮 鮮 徹	235
法政大学史学会 法政史学 七九 (二・三三)	台湾政府「台湾公民権利法」	竹 茂 敦	一
法政大学 法學志林 一一一 (二・三〇)	現行中国会計制度に関する研究	陳 志明	九
北星学園大学大学院論集 一 (二・〇三)	中国におけるCSRの動向——CSR環境とアンケート結果を中心に——	何 偉男	244
北陸大学東アジア総合研究所 東アジアの窓 六 (二・一二)	台湾と中国の関係および東アジアの政治経済学	張 亦楠	253
北大法学論集 六三三三 (二・二九)	日台民法学比較と近時の改正論議の問題状況	李 鋼 鋼 哲	261
〃 六三四 (二・二二)	二〇一二年中国刑事訴訟法の改正について	倪 潤	269
〃 六三五 (二・三一)	環太平洋連帯構想の誕生(一)——アジア太平洋地域形成をめぐる日豪中の外交イニシアティブ——	吉 田 邦彦	二二
〃 六三六 (二・三三)	現代中国における訴訟と裁判規範のダイナミックス(三)——司法解釈と指導性事例を中心に——	徐 行	*
〃 六四一四 (二・三一)	中国の民事裁判における当事者の地位に関する考察(一)——処分権への制限を手がかりに——	王 冊	*
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究 六三 (二・二二)	中国媒体国際報道政策研究 (原文は簡体字)	西 茹	278
星葉科大学 一般教育論集 二九 (二・一二)	中国法史講義ノート(一)	森 田 成満	三三
三田史学会 史学 八一三 (二・二七)	「原住民工藝」の表象と制作をめぐる一考察——台湾原住民の織物復興を事例に——	田 本 はる菜	四五
武蔵野学院大学大学院研究紀要 三 (二・〇四)	台湾問題の現状と将来	孟 蔽	286
明治大学大学院 経営学研究論集 三五 (二・一〇)	中国におけるCVSのマーケティング戦略について——日中CVSの比較——	関 倩	294
明治大学大学院 経済学研究論集 三六 (二・一〇)	日本と中国の産業集積の特徴と今後の展開	王 向榮	305

明治学院大学 経済研究 一四六 (二・一)	日台合弁鉄道車両メーカー、台湾車輛公司の事例研究 — 日台パートナー間における企業設立関係者、経営トップへのインタビューによる考察 —	西原博之	316
明治学院大学国際学部附属研究所 研究 所年報 一四 (二〇・二一)	中国における局地経済圏の形成と経済開発区の役割 天津濱海新区の経済発展の現状 — 比較制度分析におけるル・シャトリエ法則 —	司馬純詩	324
名城大学アジア研究センター 名城アジア研究 四一 (二〇・二一)	日中台の言語・文化・社会と日本の生産方式	村松恵子	333
名城論叢 二二二 (二・一九)	ECFA締結の台日貿易・投資及び産業提携に対する影響	林冠汝	340
〃 一三三 (二・二二)	Changes in Triangular Economic Relations between Japan, China and Taiwan in the 21st Century	Kuan-Yu Hsieh Yuri Sadoi	348
〃 一三四 (二・二三)	東海地域における投資誘致政策と外資系企業の動向 — 台湾側からの視点を中心として —	澤田冠貴 林冠汝	357
桃山学院大学経済経営論集 五四一 (二・二〇)	ECFA締結の台湾経済・産業に対する影響と政府の対応策	林冠汝	369
〃 五五一・二 (二・二〇)	中国の農業・農村における「水」問題の現状と課題	大島一二	384
安田女子大学紀要 四〇 (二・二二)	中国企業の海外進出における世界への布石 — レノボの海外進出戦略を中心に —	于健	*
山口福祉文化大学研究紀要 六 (二・二三)	台中経済協力枠組協定の締結と今後の展望	森岡文泉	392
山梨学院大学法科大学院 ロー・ジャー ナル 七 (二・二七)	人民元為替制度改革の行方 — 日本の為替自由化の経験を踏まえて —	梅大海	398
横浜国際経済法学会 横浜国際経済法学 一〇・一一 (二・二二)	中国の社会・法制事情と日中交流	西村幸次郎	406
横浜市立大学論叢 人文科学系列 六二三 (二・二三)	中国における夫婦法定財産制に関する変遷	趙莉	420
立教観光学研究紀要 一四 (二・二三)	チャイメリカ構造下の日米中三角関係と尖閣衝突	矢吹晋	426
立教大学大学院 異文化コミュニケーション シオン論集 一〇 (二・二三)	宗族の復興と観光に関する一考察 — 徽州西通胡氏宗族を事例に —	李崗	440
立正大学 経済学季報 六一一 (二・二八)	現代中国の模範村の行方 — 「農業は大業に学べ」の軌跡 —	藤原裕子	443
〃 六一一 (二・二八)	農作物からみた中国農業の土地利用問題 — 長江デルタと東北地区の対比 —	元木靖	455
〃 六三三 (二・二二)	中国巨大資本主義の転換期とその意味するもの — リーマン・ショック以後の世界市場配置の変化と中国の国内市場依存型発展への転換 —	五味久壽	*
立命館大学経営学会 立命館経営学 五〇・一六 (二・二三)	日中貿易の拡大が日本経済の生産・雇用・労働生産性に及ぼした影響	宮川幸三	*
立命館大学経営学会 立命館ビジネスシ ャーナル 七 (二〇・二一)	華人ビジネスネットワークの連結機能 — 香港中華総商會を中心に —	王在喆	*
立命館言語文化研究 一三四 (二・二三)	Learning Foreign Ownership Regulations in China through Networks : Case studies on Japanese subsidiary with post-20th century mode change	YE HUA	***
	Globalization and the Transformation of the Chinese State: Comparing Modern Nation State and the Ancient Chinese State	NIU Geping	479

立命館国際地域研究 三六 (二・二〇)	香港での人民元取引と対外的な人民元決済の限界	奥田宏司	486
〃	中国の持続可能な電力政策に関する研究 —二〇〇三年前後における中国の電力不足の要因 分析と課題整理—	周他三名	498
〃	日・米・中トリアングル関係の経済思想の底流 —新自由主義批判の原理的考察—	関下稔	509
立命館大学 社会システム研究 二五 (二・一九)	一九六二年の彭徳懐への外国内通批判に関して —批判内容の変遷との関係性について—	杉田徹	526
立命館大学 政策科学 一九一二 (二・一〇)	中国における気候変動政策の歴史的変遷に関する 研究 —ローカル環境問題からグローバル環境問 題へ—	周家文	537
〃	中国の食品廃棄物循環利用の現状と課題	王允	544
〃	二〇一 (二・一〇)	杜学	544
〃	中国文化産業政策における動漫産業の位置づけと 同産業振興政策に対する評価	徐龍	548
立命館文学 六三二 (二・三七)	国際化時代における日本の台湾研究 —台湾から の視点—	岡崎幸司	558
立命館大学法学会 立命館法学 三三九 (二・一〇)	台湾における国際訴訟競合の規整と日台離婚訴訟 競合	王欽彦	562
〃	人民法院の執行に関する若干の問題についての規 定(試行) (最高人民法院裁判委員会一九九八年 七月八日公布、一九九八年七月一八日施行)	田村陽子/監訳 張悦	574
龍谷大学経済学会 経済学論集 五一 (二・一七)	中国の「走出去」政策と対外直接投資の促進 —技術獲得を中心に—	姜紅祥	586
〃	中国農業産業化に関する龍頭企業経営効率に与え る要因分析 —上場した五一社国家龍頭企業にお ける横断財務分析—	高楊	601
〃	中国内モンゴル自治区の産業間における影響力係 数・感応度係数にみる波及効果 —一九九二年・ 一九九七年の産業連関表の応用—	薩茹拉	608
〃	中国農業産業化加入農家産業化経営収益に与える 影響要因分析 —山東省東部沿海の九八戸加入農 家を中心に—	高楊	618
〃	内モンゴルにおける地域間格差の拡大に関する一 考察 —固定資産投資の傾斜配分と労働生産性の 変化を視点として—	金湛	625
〃	中国山東省濰坊市の野菜生産農家における契約経 営と自由経営の利潤に関する要因分析 —契約経 営村と自由経営村の農家アンケート調査に基づ く比較分析—	唐倩	631
〃	The Sustainability Issues of Chinese Food Security in the Context of Industrialization and Urbanization	Fu Gonghua	641
流通経済大学社会学部論叢 二四 (二・一〇)	中国農村における定期市収入の影響要因 —中国 内モンゴル赤峰市紅山区A村の事例を対象に—	李文闊	649
〃	中国農村社会の互助慣行	恩田守雄	*
麗澤大学経済学会 麗澤学際ジャーナル 一〇一 (二・一三)	Globalization in context: Big Macs in Beijing and other top news stories	William Hay	658

中国関係論説資料 第55号

収録論文一覧

2015年 2月28日発行

東京都板橋区向原3-10-2

論説資料保存会

代表者 常盤浩行

中国関係論説資料 第55号 発行日

第1分冊 2014年12月31日

第2分冊 2014年11月30日

第3分冊 2015年1月31日

第4分冊 2015年2月28日